

# モクレポ



○木造11階建てビル「Port Plus」(横浜市中区)の外観(左側)と内装(右側)  
設計・施工:株式会社大林組(2022年竣工)

令和4年8月  
No.11

## 特集

- 森林クレジット創出拡大に向けた森林管理プロジェクトの制度見直し
- 「新しい林業」経営モデル実証事業
- 2022年上半期の木材輸出実績
- 2022年上半期の木材輸入実績
- 「森林経営管理リーダー育成研修」の開催

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

### 【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

# CONTENTS 令和4年8月号

- 特集**
- 1 森林クレジット創出拡大に向けた森林管理プロジェクトの制度見直し
  - 2 「新しい林業」経営モデル実証事業
  - 3 2022年上半期の木材輸出実績
  - 4 2022年上半期の木材輸入実績
  - 5 「森林経営管理リーダー育成研修」の開催

特集1  
特集2  
特集3  
特集4  
特集5

## 01 基礎的指標

- 1 新設住宅着工戸数
- 2 新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積
- 3 木材産業の業況
- 4 USドル及びユーロ為替相場
- 5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃
- 6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

基礎1  
基礎4  
基礎8  
基礎9  
基礎10  
基礎11

## 02 木材価格情報

- 1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格
- 2 木材価格、製品価格 <参考> 都道府県別データ

価格1  
価格3

## 03 木材需給情報

- 1 需要量、供給量、自給率の動向
- 2 地域の木材需給動向（各森林管理局からの報告）
- 3 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 4 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 5 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 6 間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高
- 7 素材生産量
- 8 木材生産の産出額

需給1  
需給4  
需給5  
需給6  
需給7  
需給8  
需給9  
需給10

## 04 林産物輸出入情報

- 1 林産物輸出額
- 2 木材輸出額
- 3 木材輸入額
- 4 木材輸入量
- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

輸出入1  
輸出入2  
輸出入3  
輸出入4  
輸出入10

## 05 特用林産情報

- 1 特用林産物の国内生産量
- 2 特用林産物の産出額
- 3 特用林産物の輸出入量
- 4 特用林産物の輸出額
- 5 きのこと類の卸売量・価格

特産1  
特産2  
特産3  
特産4  
特産7

## 06 セミナー・イベント情報

- 1 8月中旬以降の開催情報

イベント1

# 森林クレジット創出拡大に向けた 森林管理プロジェクトの制度見直し

- カーボンニュートラル実現に向けて、森林に由来する吸収系のJ-クレジットに対する産業界等からの期待が高まっているところ。
- J-クレジット制度の森林管理プロジェクトが主伐・再造林の循環システム確立の後押しとなるよう、8月5日に開催された第27回J-クレジット制度運営委員会において、森林経営の長期的な時間軸を踏まえたルールへの見直しを審査・決定。

## ■ J-クレジット制度とは

- J-クレジット制度は、森林管理による温室効果ガスの吸収量等を、国が「クレジット」として認証する制度。
- 森林管理のほか、省エネ設備の導入、再エネ利用等による温室効果ガスの排出削減量も認証の対象となり、環境省、経済産業省及び農林水産省で制度を共管・運営。

## ■ 森林クレジットの現状と課題、制度見直しの検討

J-クレジット制度の下で認証された森林クレジットは全認証量の2%未満にとどまっており、創出拡大が課題。

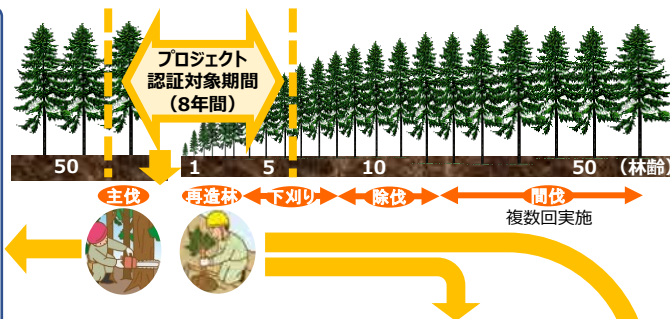
- ➔ 森林所有者等が、森林管理プロジェクトに取り組みやすくなるよう、「J-クレジット制度運営委員会」の下に有識者からなる「森林小委員会」を設置して、令和4年4月から6月にかけて同小委員会を3回開催し、森林管理プロジェクトにかかる制度の見直しを検討。
- ➔ 検討結果についてパブコメを実施した上で、8月5日に開催された第27回J-クレジット制度運営委員会において、検討結果を踏まえた制度改定案を審議・決定。

## ■ 森林管理プロジェクトの制度見直しの概要

### 課題①: 追加性(※)要件

- 認証対象期間中(8年間)の収支見込が赤字であることを証明する必要(主伐を行うと黒字が見込まれ、プロジェクト登録要件を満たさないケースが発生)。
- ➔ 主伐後に再造林を計画する場合や、保育・間伐等施業のみ計画する場合は、林業経営の長期的な経費を踏まえ、証明は不要とする。

※追加性とは、本制度がない場合に、経済的障壁等により活動実施が困難であること(追加的な取組であること)。



### 課題②: 主伐時の排出計上、再造林の推進

- 主伐は「排出」計上されるためクレジット認証量が少ない(主伐・再造林を含むプロジェクトが形成されにくい)。
- ➔ 主伐後の伐採跡地に再造林すれば、標準伐期齢(35-45年程度等)に達した時点の炭素蓄積を排出量から控除する制度を導入。
- 主伐後の造林未済地が増加。
- ➔ 造林未済地を対象に、第三者が再造林を行う場合も制度の対象に追加。

### 課題③: 伐採木材の炭素固定

- 森林のみが吸収クレジットの算定対象(伐採木材に固定される炭素は評価対象外)
- ➔ 間伐や主伐により伐採された木材が製品として使われることにより固定される炭素量の一部を、吸収クレジットの算定対象に追加(伐採木材が木製品として90年間永続的に利用される分の固定量を評価)。



### 課題④: 天然生林の取り扱い

- 森林施業が実施された森林(=育成林)のみが吸収クレジットの算定対象(天然生林は算定対象外)
- ➔ 保安林等に指定された天然生林で、森林の保護に係る活動(森林病虫害の駆除・予防、火災予防等)を実施すれば吸収クレジットの算定対象に追加。



【認証対象期間の延長】 認証対象期間を8年間から最大16年間に延長できる措置を併せて導入。

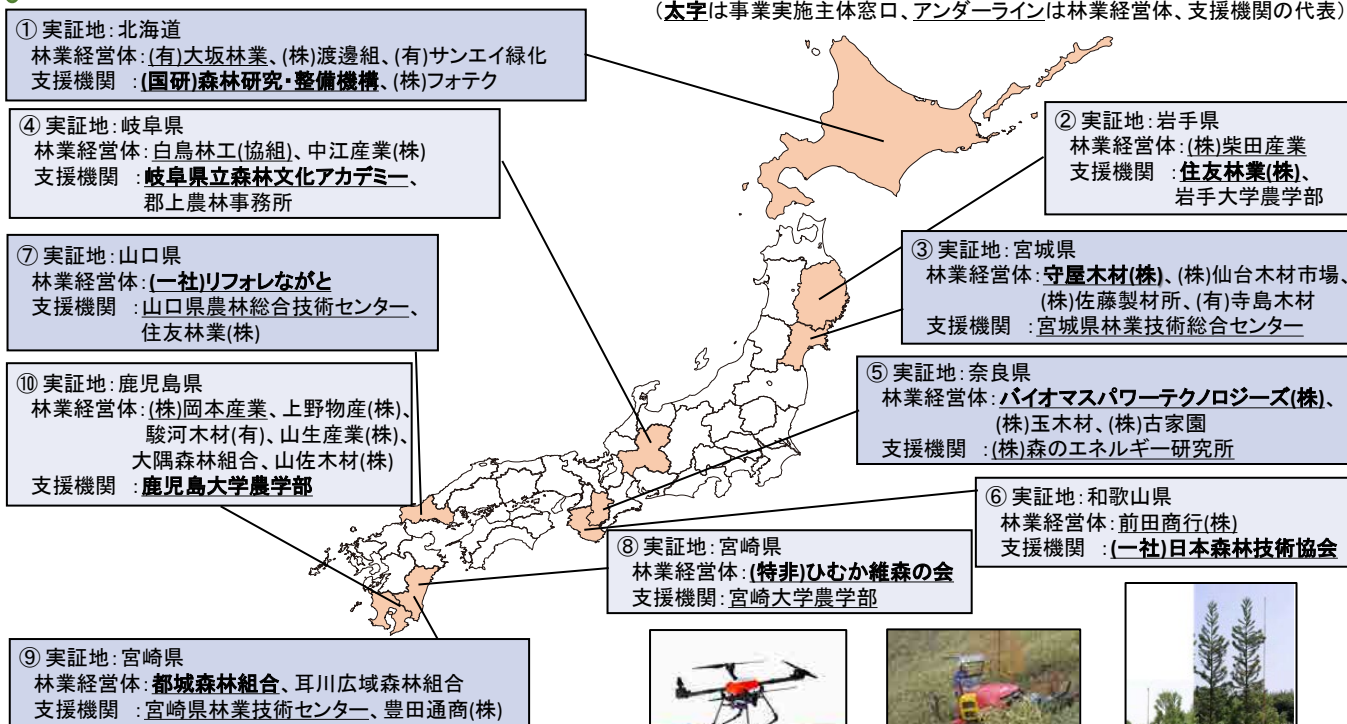
J-クレジット制度運営委員会、森林小委員会、制度改訂の詳細等については、次のURLをご覧ください。  
<https://japancredit.go.jp/>



## 特集-2 「新しい林業」経営モデル実証事業

- 昨年閣議決定した「森林・林業基本計画」において、従来の施業方法等を見直し、新しい技術等を取り入れて、伐採から再生林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」を目指す取組を展開するとしたところ。
- 本事業は、この「新しい林業」の実現に向けた林業経営体等による実証の取組を支援するものとして予算化。
- 本年度の事業実施主体である（一社）林業機械化協会が実施に取り組む経営体を公募し、有識者委員会による審査を経て、本年7月に10件の取組を選定。

### 「新しい林業」経営モデル実証事業に取り組む林業経営体等一覧



※林業経営体: 実際に林内において「新しい林業」の実証を行う者  
支援機関: 実証の進行管理や調整を行う大学、研究機関等



UAV(無人航空機)による苗木運搬



下刈作業の機械化



エリートツリーの活用

No.	実証内容
①	ICTハーベスタ等による完全機械化作業、自動植付機及び乗用下刈り機の省力化・効率性等を実証
②	CTL(短幹集材)による生産性向上、トラクターと破砕機による地拵え、地形情報による植栽等を実証
③	ICTハーベスタを活用した採材及び生産管理、エリートツリーの低密度植栽と下刈り回数縮減等を実証
④	油圧集材機・架線式グラブルの効率性・安全性、最新式造林機械による省力化・効率性等を実証
⑤	地上レーザー測量による森林資源・地表データの把握、自走式架線集材、新たな植付機等を実証
⑥	タワーヤードを活用した架線集材、林地残材の収益化及び資機材運搬による再生林等を実証
⑦	ICTハーベスタを活用した採材、需要情報システムを利用した流通、UAVIによる造林資材の運搬等を実証
⑧	油圧集材機・架線式グラブルの効率性・低コスト化、大型UAVIによる苗木資材運搬の軽労化等を実証
⑨	主伐地の短尺材収集や木材粉碎機による地拵え経費の縮減、防草シートによる下刈り省力化等を実証
⑩	UAVIによる森林調査、ロングリーチハーベスタ等による伐倒、優良苗低密度植栽による下刈り省力化等を実証

実証内容等の詳細については、次のURLをご覧ください。

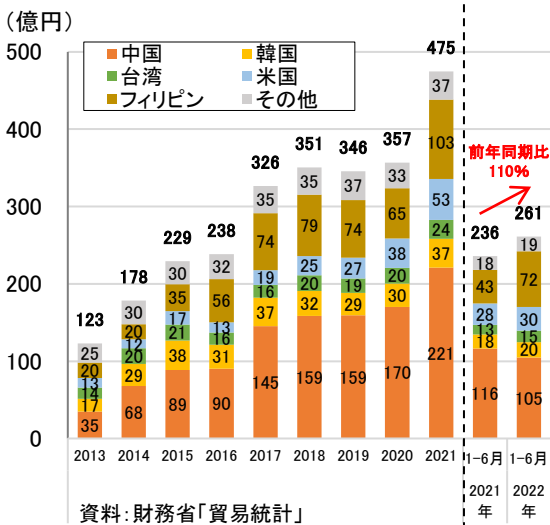
林野庁HP: <https://www.rinya.maff.go.jp/j/routai/keiei.html>

(一社)林業機械化協会HP: <https://www.rinkikyo.or.jp>

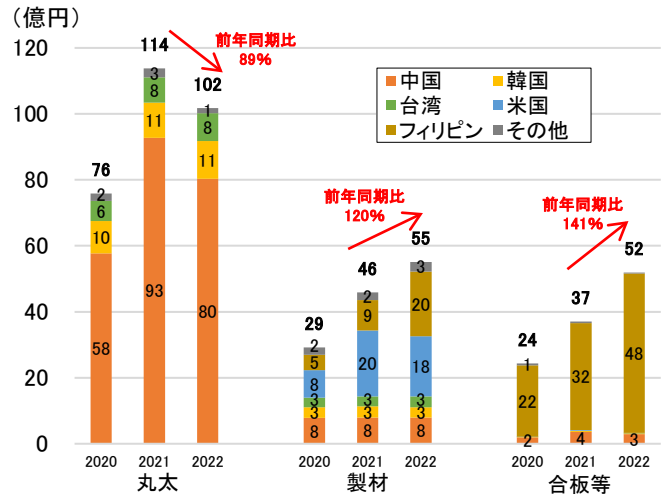
# 特集-3 2022年上半期の木材輸出実績

- 2022年上半期（1～6月）の木材輸出額は261億円となり、過去最高であった昨年を上回るペースで増加（前年同期比110%）。
- ただし、中国については、上海でのロックダウンの影響等により、丸太を中心として輸出額が減少（前年同期比90%）。
- 全体では、円安や世界的な木材価格の高止まりに伴い、輸出額が増加傾向。

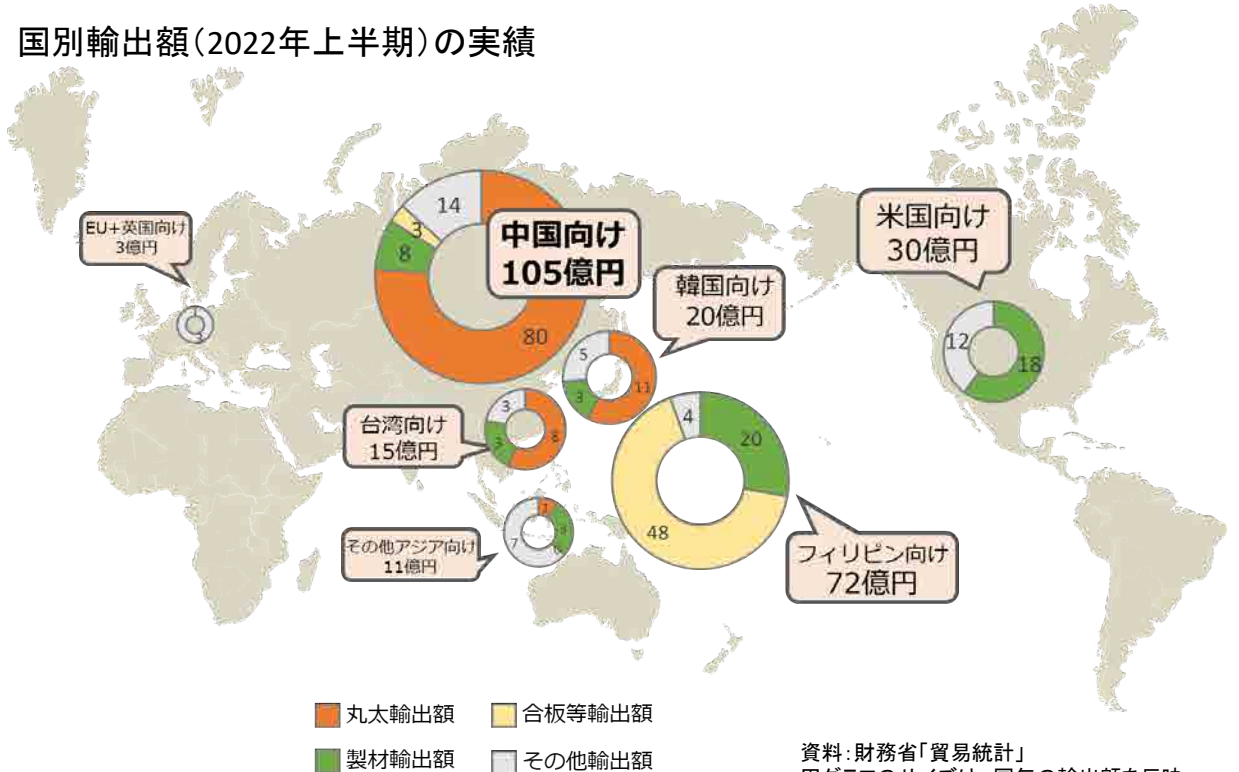
## ■ 国別木材輸出額の推移



## ■ 品目別輸出額（各年上半期）



## ■ 国別輸出額（2022年上半期）の実績



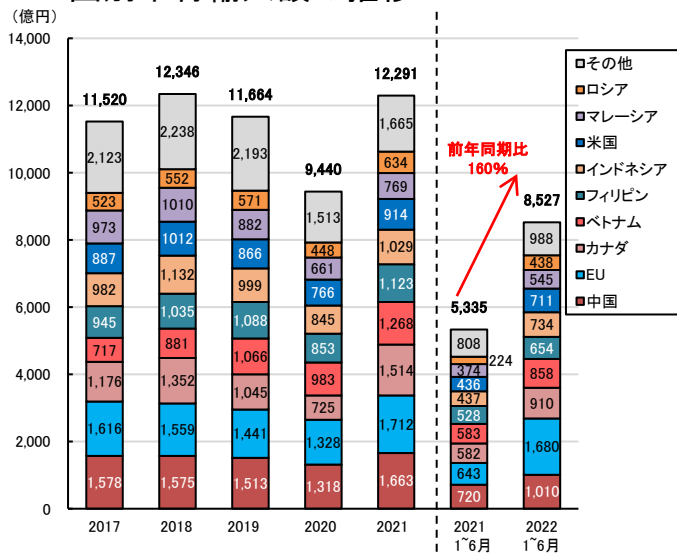
木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



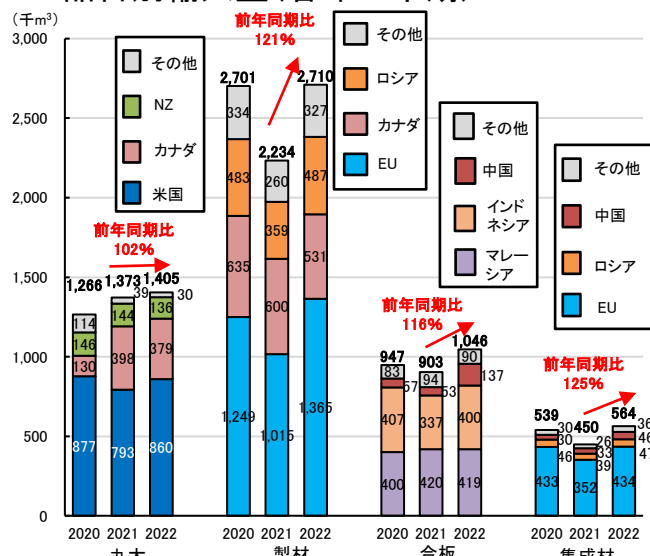
- 2022年上半期（1～6月）の木材輸入額は8,527億円（前年同期比160%）。円安や、世界的な木材価格、海上輸送運賃の高止まり等により、輸入額は高値を維持。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比102%、製材が同121%、合板が同116%、集成材が同125%と、軒並み増加。

国別木材輸入額の推移



資料:財務省「貿易統計」

品目別輸入量(各年上半期)

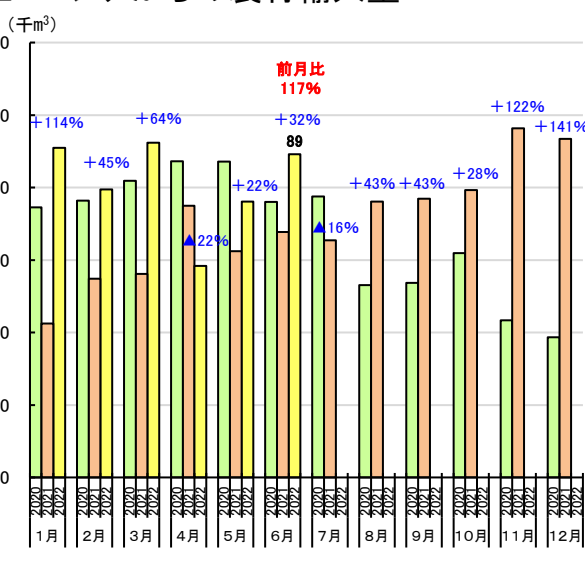


資料:財務省「貿易統計」

ロシアからの木材輸入実績を巡る情勢

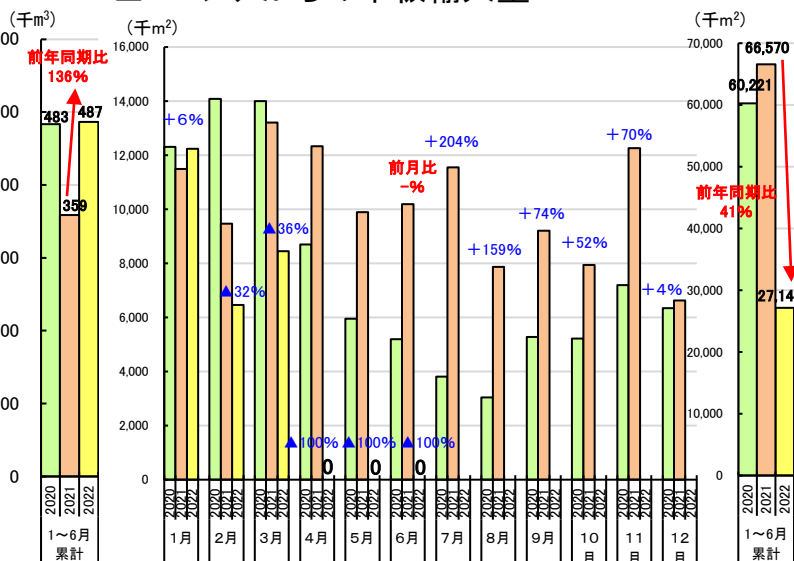
- ロシアは、3月から、我が国を含む「非友好国」に対して、木材チップ、丸太、単板の輸出を禁止。
- 我が国は、4月から、チップ、丸太及び単板について、ロシアからの輸入を禁止。また、ロシアへの最恵国待遇を撤回。さらに、6月には、針葉樹単板のロシアへの輸出を禁止。
- 2022年6月のロシアからの製材輸入量は、前月比117%の9万m3（前年同月比132%）、上半期は49万m3（前年同期比136%）。また、同月の単板輸入量の実績なく、上半期は2,714万m2（前年同期比41%）。

ロシアからの製材輸入量



資料:財務省「貿易統計」

ロシアからの単板輸入量



資料:財務省「貿易統計」

毎月の輸入実績は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyuu/boueki.html>



- 林野庁では、森林経営管理制度の運用に当たって、市町村への支援を担う人材（森林経営管理リーダー）を育成するため、主に都道府県の地方機関や市町村支援組織（※1）の職員を対象に、全国8箇所で研修（※2）を開催中。令和元年度の研修開始から、令和3年度までに延べ451人が受講。
- 森林経営管理制度のポイントや針広混交林化の留意点に関する講義、グループワークによる机上演習、市町村講師による先進事例の紹介を通じて、実践的人材を育成。

※1：都道府県森林組合連合会や林業公社等が運営する、森林経営管理制度に係る市町村の取組を支援する組織のこと。  
 ※2：令和元年度より実施している「森林経営管理制度円滑化対策研修」のこと。

＜令和4年度は全国8箇所で開催中＞

千葉県(7/5-7)、東京都(7/26-28)、長野県(8/8-10)、岩手県(8/30-9/1)、  
 島根県(9/13-15)、兵庫県(10/4-6)、香川県(10/25-27)、福岡県(11/15-17)

※島根、兵庫、香川、福岡会場については空きがございますので、参加を希望される方は随時林野庁に御相談ください。

💡 森林経営管理制度ポイント解説

林野庁講師が全国の先進事例を参考にしながら、制度に係る事務の流れやポイント、留意点を解説。

＜主な解説事項＞

- 全国の取組事例の紹介
- 意向調査の進め方
- 経営管理権集積計画策定までの事務
- 経営管理権集積計画策定後の事務
- 相続人探索の進め方
- 国における各種制度の見直し状況 等

💡 針広混交林化の留意点を解説

針広混交林化に当たって、技術的に留意すべきポイントや森林管理の理念等を解説。

＜主な解説事項＞

- 森づくりの理念（森林経営・森林施業の基本原則、目標林型等）
- 広葉樹林化を考える（天然更新の成否を決める要因等）
- 天然更新の具体的な事例
- 更新促進のための工夫 等

💡 集積・集約化に向けた実践演習

空中写真や施業履歴、森林資源情報を元に、意向調査の対象森林や経営管理の委託を受ける森林をどのように設定するのか等について、グループで議論・発表。



←↓図面をもとに演習

↓グループで議論



💡 市町村講師による先進事例の紹介

先進的な取組を行っている市町村の職員等を講師として招き、実務に即した取組のポイント・アイデアを学ぶ。

＜先進市町村の様々な取組ポイント（例）＞

- ☞ わかりやすい意向調査票の作成
- ☞ 意向調査の優先順位の数値化
- ☞ 宛名不在の解消に向けた相続人探索
- ☞ 集積計画を作る前に現地を確認
- ☞ 共有者不明森林の特例措置の活用
- ☞ 林業事業体の育成のための事業発注
- ☞ 一括発注による事務作業の省略化 等

昨年度までの取組状況や、森林経営管理制度についての詳細は、次のURLをご覧ください。

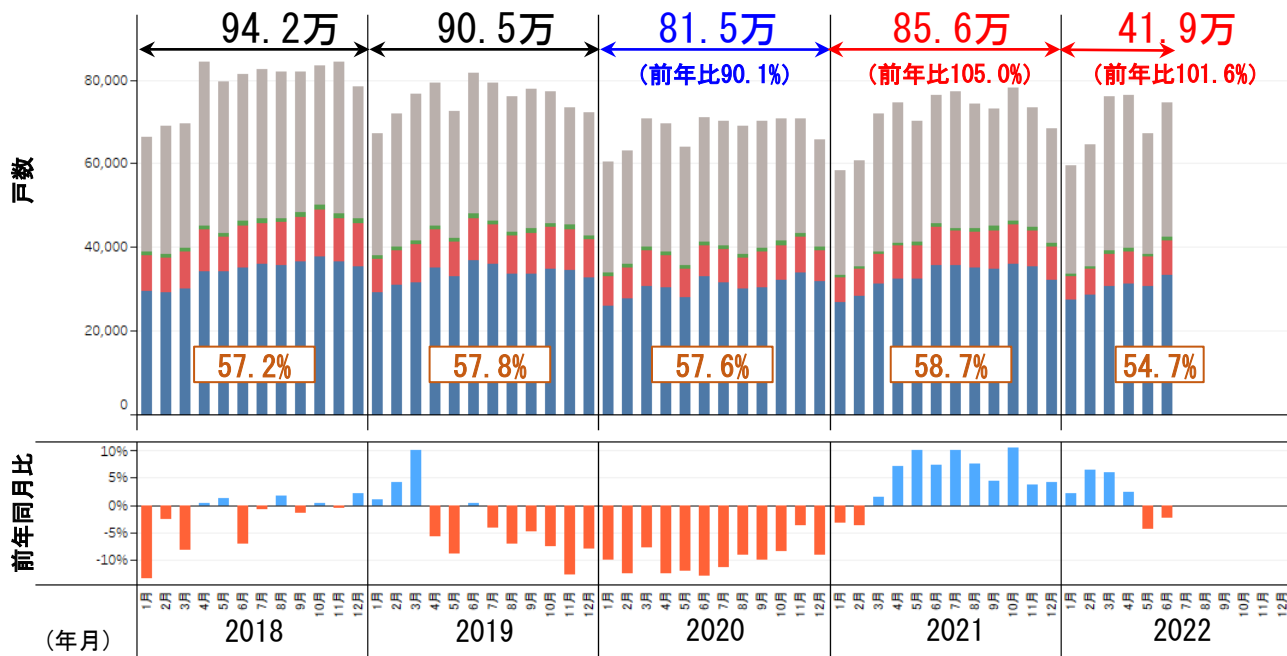
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/sinrinkeieikanriseido.html>



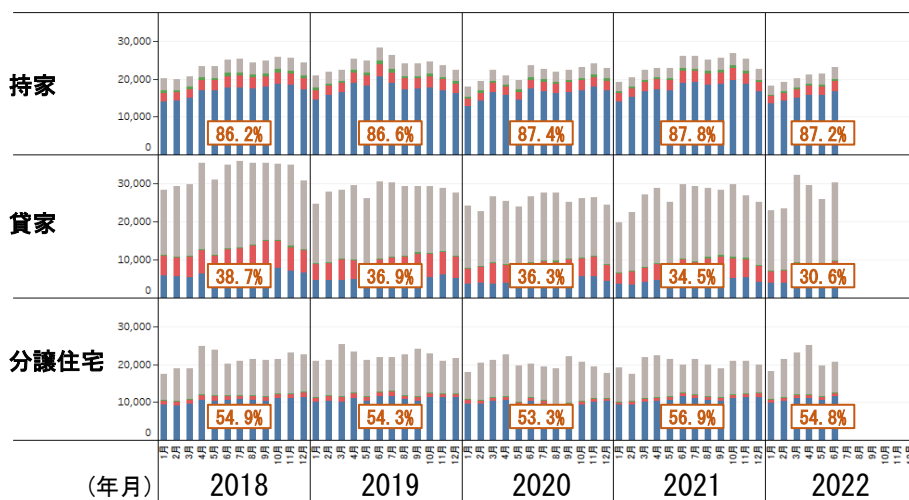


# 基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2021年の新設住宅着工戸数は、85.6万戸（前年比105.0%）、このうち木造住宅は50.2万戸（同107.0%）
- 2022年1～6月の新設住宅着工戸数は、41.9万戸（前年同期比101.6%）、このうち木造住宅は22.9万戸（同97.0%）。



構造別の着工戸数	2022年 1～6月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	418,507	412,010	101.6%	398,683	105.0%
■ 非木造	189,673	176,192	107.7%	173,170	109.5%
木造	228,834	235,818	97.0%	225,513	101.5%
■ 木造プレハブ	4,514	4,751	95.0%	5,131	88.0%
■ 2×4	42,959	44,122	97.4%	44,741	96.0%
■ 在来軸組	181,361	186,945	97.0%	175,641	103.3%
□ 木造率	54.7%	57.2%		56.6%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」



○新設住宅着工戸数（構造別）

（単位：千戸、％）

年・月	合計	木造							非木造	木造率	戸数					
		計	前年比	在来軸組		2×4		プレハブ			前年比	年率季節調整値				
2018年	1	66	87	39	100	29	99	8.6	103	0.9	86	27	73	58.7	856	86
	2	69	97	38	97	29	97	8.3	97	1.0	96	31	98	55.5	926	99
	3	70	92	40	96	30	96	8.7	96	0.9	96	30	87	57.1	895	91
	4	84	100	45	100	34	100	10.2	101	0.9	82	39	101	53.7	992	99
	5	80	101	43	97	34	100	8.5	88	0.9	82	36	107	54.6	996	100
	6	81	93	46	97	35	98	10.1	93	1.2	93	35	88	56.9	915	91
	7	83	99	47	98	36	99	9.8	95	1.1	104	36	100	56.8	958	98
	8	82	102	47	100	36	100	10.2	101	1.0	99	35	104	57.4	957	102
	9	82	99	48	100	37	102	10.6	95	1.1	93	33	96	59.1	943	99
	10	83	100	50	102	38	103	11.3	100	1.3	108	33	97	60.3	950	100
	11	84	99	48	96	37	96	10.3	96	1.1	94	36	104	57.1	957	100
	12	78	102	47	103	35	103	10.4	104	1.1	98	32	101	59.7	961	103
2019年	1	67	101	38	98	29	99	7.9	91	1.0	105	29	106	56.8	872	102
	2	72	104	40	104	31	106	8.3	100	0.9	85	32	104	55.6	967	104
	3	77	110	41	104	31	104	9.1	105	0.9	95	35	118	54.1	989	110
	4	79	94	45	100	35	103	9.0	88	1.1	120	34	88	56.9	931	94
	5	73	91	42	97	33	97	8.2	97	1.0	115	30	84	58.2	900	90
	6	82	100	48	104	37	105	10.0	99	1.2	104	33	96	59.0	922	101
	7	79	96	46	99	36	100	9.4	96	1.1	95	33	92	58.5	910	95
	8	76	93	44	93	34	94	9.0	88	1.0	92	32	93	57.4	891	93
	9	78	95	44	92	34	91	9.9	93	1.0	95	33	100	57.0	897	95
	10	77	93	46	91	35	92	9.9	87	1.1	82	31	95	59.3	879	93
	11	74	87	45	94	34	94	9.8	95	1.1	93	28	78	61.6	834	87
	12	72	92	43	91	33	92	9.2	89	1.0	89	29	93	59.3	852	89
2020年	1	60	90	34	89	26	89	7.0	89	0.8	82	26	91	56.1	813	93
	2	63	88	36	90	28	90	7.3	88	0.8	88	27	85	56.8	871	90
	3	71	92	40	97	31	97	8.7	95	0.9	102	31	87	56.8	905	92
	4	70	88	39	86	30	86	7.7	86	0.8	75	31	90	55.8	801	86
	5	64	88	36	84	28	85	6.8	83	0.9	96	28	93	55.8	809	90
	6	71	87	41	86	33	90	7.3	73	1.0	79	30	89	58.0	790	86
	7	70	89	40	87	32	88	7.8	84	0.9	89	30	91	57.6	828	91
	8	69	91	38	88	30	89	7.5	83	1.0	102	31	95	55.6	819	92
	9	70	90	40	90	30	91	8.6	87	1.0	92	30	90	56.9	815	91
	10	71	92	41	91	32	93	8.2	84	0.9	89	29	93	58.6	802	91
	11	71	96	43	96	34	98	8.6	87	1.0	92	27	97	61.3	820	98
	12	66	91	40	94	32	97	7.6	82	0.9	92	25	87	61.3	784	92
2021年	1	58	97	33	99	27	103	5.9	85	0.6	82	25	95	57.1	801	99
	2	61	96	35	99	28	101	6.6	90	0.7	93	25	93	58.3	808	93
	3	72	101	39	97	31	102	7.0	81	0.8	93	33	107	54.3	880	97
	4	75	107	41	106	32	107	7.8	101	0.8	96	33	109	55.1	883	110
	5	70	110	41	115	33	116	7.9	116	0.8	80	29	103	58.6	875	108
	6	76	107	46	111	36	109	8.9	122	1.1	111	31	102	60.0	866	110
	7	77	110	45	110	36	112	8.3	106	0.8	86	33	109	57.9	926	112
	8	74	108	45	116	35	117	8.7	116	1.0	98	30	97	60.0	855	104
	9	73	104	45	113	35	115	9.2	108	1.1	117	28	93	61.7	845	104
	10	78	110	46	112	36	112	9.4	114	1.1	114	32	108	59.5	892	111
	11	73	104	45	103	35	104	8.5	100	1.0	101	29	104	61.1	848	103
	12	68	104	41	102	32	102	7.8	103	0.8	91	28	108	59.7	838	107
2022年	1	60	102	34	101	27	102	5.9	99	0.6	87	26	104	56.5	820	102
	2	65	106	35	100	29	101	6.2	94	0.7	100	29	115	54.8	872	108
	3	76	106	39	101	31	98	7.9	113	0.8	95	37	113	51.5	927	105
	4	76	102	40	97	31	96	7.6	98	0.8	107	37	109	52.0	885	100
	5	67	96	38	93	31	94	7.2	91	0.7	93	29	99	57.2	828	95
	6	75	98	42	93	33	93	8.1	92	0.9	89	32	105	56.8	845	98
2018年計		942	98	539	99	410	99	117	97	13	94	403	96	57.2	942	97
2019年計		905	96	523	97	402	98	110	94	12	97	382	95	57.8	904	96
2020年計		815	90	469	90	365	91	93	85	11	89	346	91	57.6	821	91
2021年計		856	105	502	107	396	108	96	103	11	97	354	102	58.7	860	105
2018年	第1四半期	205	92	117	97	89	97	26	99	2.8	93	88	85	57.1	892	92
	第2四半期	245	98	135	98	103	100	29	94	2.9	86	110	98	55.1	968	97
	第3四半期	246	100	142	100	108	100	31	97	3.3	98	104	100	57.8	953	100
	第4四半期	246	101	145	100	110	101	32	100	3.5	100	101	101	59.0	956	101
2019年	第1四半期	216	105	120	102	92	103	25	99	2.7	94	96	109	55.4	942	106
	第2四半期	234	95	135	100	105	102	27	95	3.3	112	98	89	58.0	918	95
	第3四半期	233	95	134	94	103	95	28	92	3.1	94	99	95	57.7	899	94
	第4四半期	223	91	134	92	102	93	29	90	3.1	88	89	88	60.1	855	89
2020年	第1四半期	194	90	110	92	84	92	23	91	2.4	90	84	88	56.6	863	92
	第2四半期	205	88	116	85	91	87	22	80	2.7	83	89	91	56.6	800	87
	第3四半期	210	90	119	88	92	89	24	85	2.9	94	91	92	56.7	821	91
	第4四半期	207	93	125	93	98	96	24	84	2.8	91	82	92	60.4	802	94
2021年	第1四半期	191	98	108	98	86	102	20	85	2.2	89	83	99	56.5	830	96
	第2四半期	221	108	128	111	101	110	25	113	2.6	95	93	105	57.9	875	109
	第3四半期	225	107	134	113	105	114	26	110	2.9	100	90	99	59.8	876	107
	第4四半期	220	106	132	106	104	106	26	105	2.9	102	88	107	60.1	859	107
2022年	第1四半期	200	105	108	100	86	100	20	102	2.0	94	92	111	54.1	873	105
	第2四半期	218	99	120	94	95	94	23	94	2.5	96	98	105	55.2	852	97

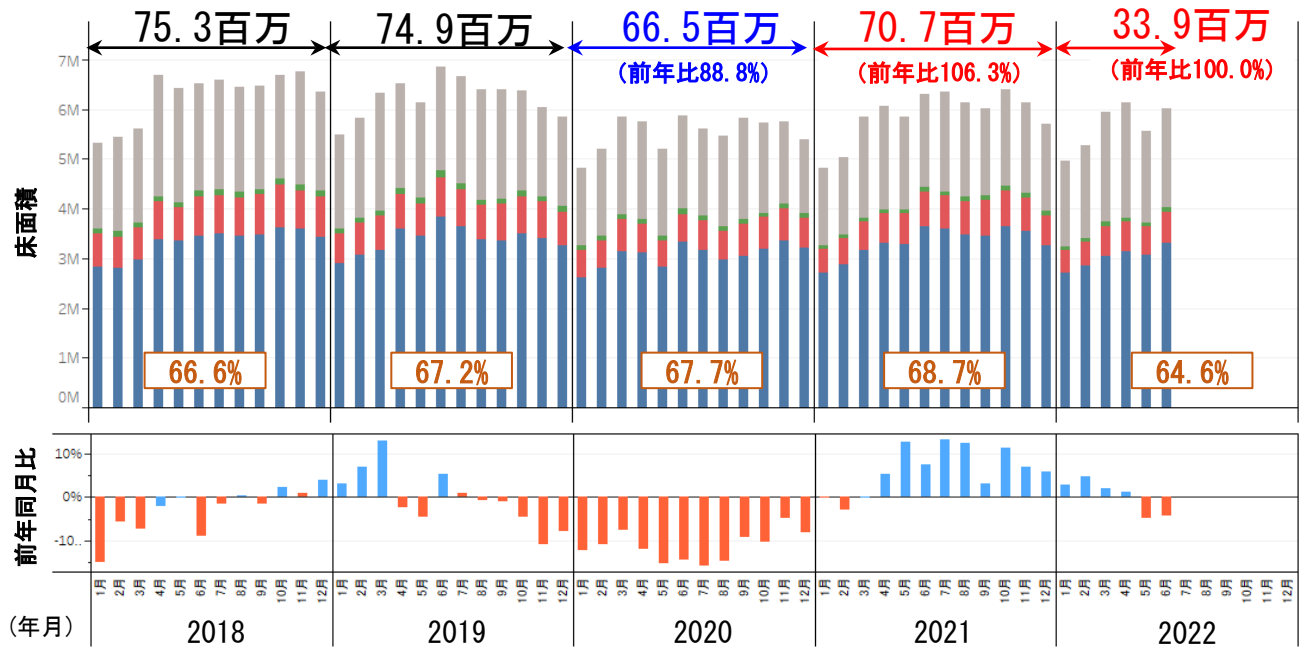
○新設住宅着工戸数（利用関係別・資金別）

（単位：千戸、％）

年・月	合計	利用関係別										資金別							
		持家		貸家		給与		分譲		一戸建		共同住宅		民間		公的			
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比			
2018年	1	66	87	20	100	28	89	0.4	78	17	73	11	99	7	51	59	85	7	99
	2	69	97	20	94	29	95	0.6	176	19	103	11	99	8	109	62	98	8	94
	3	70	92	21	96	30	88	0.3	36	19	96	11	99	8	93	63	92	7	89
	4	84	100	23	98	35	98	0.6	180	25	105	12	107	13	103	75	99	9	108
	5	80	101	23	98	31	94	1.2	359	24	112	12	106	12	121	72	102	7	95
	6	81	93	25	97	35	97	1.0	202	20	81	12	101	8	64	72	93	9	93
	7	83	99	25	100	36	99	0.4	94	21	99	12	103	9	95	73	98	9	109
	8	82	102	24	100	35	101	0.7	135	21	103	12	104	9	101	73	101	9	111
	9	82	99	25	100	35	94	0.6	118	21	104	12	105	9	104	74	98	8	105
	10	83	100	26	105	35	93	0.8	118	21	109	13	106	9	114	74	100	9	101
	11	84	99	26	103	35	93	0.6	138	23	106	13	100	11	114	75	98	9	109
	12	78	102	24	105	31	92	0.4	83	23	116	13	108	10	129	70	101	8	114
2019年	1	67	101	21	103	25	88	0.5	118	21	120	11	104	10	145	60	102	7	95
	2	72	104	22	110	28	95	0.9	140	21	111	12	112	9	110	64	104	8	105
	3	77	110	22	109	28	96	0.4	162	25	133	12	107	14	169	69	110	8	110
	4	79	94	25	109	30	83	1.0	176	23	94	13	103	11	85	71	95	8	88
	5	73	91	25	106	26	84	0.4	31	21	89	12	100	9	77	64	89	8	112
	6	82	100	28	113	31	88	0.6	66	22	108	13	110	9	105	73	102	8	91
	7	79	96	26	103	30	85	0.6	143	22	105	13	109	9	100	71	97	8	86
	8	76	93	24	98	29	83	0.2	36	23	106	12	102	10	110	68	93	8	91
	9	78	95	24	97	29	83	0.5	75	24	114	12	100	12	133	70	95	8	97
	10	77	93	24	94	29	84	0.3	41	23	107	13	101	10	116	69	93	8	90
	11	74	87	24	93	29	82	0.3	48	21	90	13	101	8	76	65	87	8	93
	12	72	92	22	91	28	90	0.7	167	22	95	12	96	9	94	65	92	8	90
2020年	1	60	90	18	86	24	97	0.3	63	18	85	11	97	7	72	54	89	7	98
	2	63	88	20	89	23	81	0.5	63	20	96	11	92	9	102	56	88	7	86
	3	71	92	22	100	27	93	0.6	145	21	84	12	99	10	71	63	91	8	105
	4	70	88	21	83	25	86	0.6	60	23	96	12	92	11	102	62	88	7	86
	5	64	88	20	79	24	92	0.3	92	20	93	10	87	9	101	58	90	6	70
	6	71	87	24	83	27	87	0.6	94	20	92	12	89	8	97	64	88	7	82
	7	70	89	23	86	28	91	0.5	77	19	88	11	83	8	96	63	89	7	88
	8	69	91	22	91	28	95	0.6	248	19	84	9	77	9	92	63	92	6	81
	9	70	90	22	93	25	85	0.6	137	22	92	10	84	12	100	64	92	6	73
	10	71	92	23	94	26	89	0.9	293	21	90	11	84	10	98	64	93	6	78
	11	71	96	24	102	26	92	0.8	292	20	94	11	90	8	101	64	98	7	83
	12	66	91	23	102	24	88	0.8	115	18	82	11	91	6	69	59	91	7	87
2021年	1	58	97	19	106	20	82	0.4	121	19	107	10	94	9	128	53	99	5	80
	2	61	96	20	104	23	100	0.4	77	17	85	10	96	7	73	55	97	6	88
	3	72	101	22	100	27	103	0.4	59	22	103	11	97	10	110	65	104	7	81
	4	75	107	23	109	29	114	0.3	55	22	100	12	99	11	100	68	109	7	93
	5	70	110	23	116	25	104	0.8	230	21	108	12	114	10	103	63	109	7	119
	6	76	107	26	111	30	112	0.5	81	20	98	13	109	7	84	70	109	7	96
	7	77	110	26	115	29	106	0.4	83	21	111	12	113	9	108	70	111	7	96
	8	74	108	25	115	29	104	0.5	92	20	105	12	125	8	86	67	107	7	113
	9	73	104	26	115	28	113	0.4	64	19	85	12	115	7	61	67	104	6	104
	10	78	110	27	117	30	115	0.5	55	21	101	12	115	9	85	71	110	7	112
	11	73	104	25	105	27	101	0.5	57	21	106	13	110	8	102	67	105	6	91
	12	68	104	23	100	25	103	0.5	66	20	113	13	112	7	114	63	106	6	88
2022年	1	60	102	18	94	23	117	0.3	88	18	95	11	108	7	80	55	103	5	92
	2	65	106	19	94	24	105	0.3	76	21	123	12	111	10	142	59	108	5	87
	3	76	106	20	91	32	119	0.4	112	23	106	12	110	11	102	70	107	7	100
	4	76	102	21	92	30	102	0.5	155	25	112	12	107	13	117	70	104	6	88
	5	67	96	21	93	26	103	0.3	44	20	91	12	101	8	80	62	98	6	79
	6	75	98	23	89	30	102	0.4	90	21	104	13	100	8	111	68	98	6	98
2018年計		942	98	283	100	396	95	7.5	129	255	100	142	103	112	96	842	97	100	102
2019年計		905	96	289	102	342	86	6.4	86	268	105	148	104	119	106	810	96	95	95
2020年計		815	90	261	90	307	90	7.2	113	240	90	131	89	109	91	735	91	80	84
2021年計		856	105	286	109	321	105	5.6	77	244	102	141	108	102	94	779	106	77	96
2018年	第1四半期	205	92	61	97	87	91	1.3	79	55	89	32	99	23	78	183	92	22	94
	第2四半期	245	98	72	97	101	96	2.7	242	69	99	36	105	33	93	219	98	26	98
	第3四半期	246	100	75	100	107	98	1.7	116	63	102	36	104	27	100	220	99	26	109
	第4四半期	246	101	76	104	101	93	1.7	112	67	110	38	105	29	119	220	100	26	108
2019年	第1四半期	216	105	65	107	81	93	1.8	138	67	121	35	108	32	140	193	105	23	104
	第2四半期	234	95	79	110	86	85	2.0	74	66	96	38	104	29	87	209	95	25	96
	第3四半期	233	95	74	99	89	83	1.3	77	68	108	37	104	31	114	209	95	24	91
	第4四半期	223	91	70	93	86	85	1.3	73	65	97	38	99	27	94	199	91	24	91
2020年	第1四半期	194	90	60	92	73	90	1.5	84	59	88	33	96	26	80	172	89	22	96
	第2四半期	205	88	64	82	76	88	1.6	76	63	94	34	89	29	100	185	89	20	79
	第3四半期	210	90	67	90	80	90	1.7	128	60	88	30	81	30	96	190	91	19	80
	第4四半期	207	93	70	99	77	90	2.5	198	58	89	33	88	24	89	187	94	20	83
2021年	第1四半期	191	98	62	103	70	95	1.2	78	58	98	32	96	26	101	173	100	18	83
	第2四半期	221	108	72	112	84	110	1.6	104	64	102	36	107	28	96	201	109	20	102
	第3四半期	225	107	77	115	86	107	1.3	79	60	100	36	117	25	82	205	108	20	104
	第4四半期	220	106	75	107	82	106	1.5	59	62	106	38	113	24	98	201	107	19	97
2022年	第1四半期	200	105	58	93	79	113	1.1	92	63	108	35	109	28	105	184	106	17	93
	第2四半期	218	99	66	91	86	102	1.3	81	65	103	37	103	28	102	200	100	18	88

## 基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

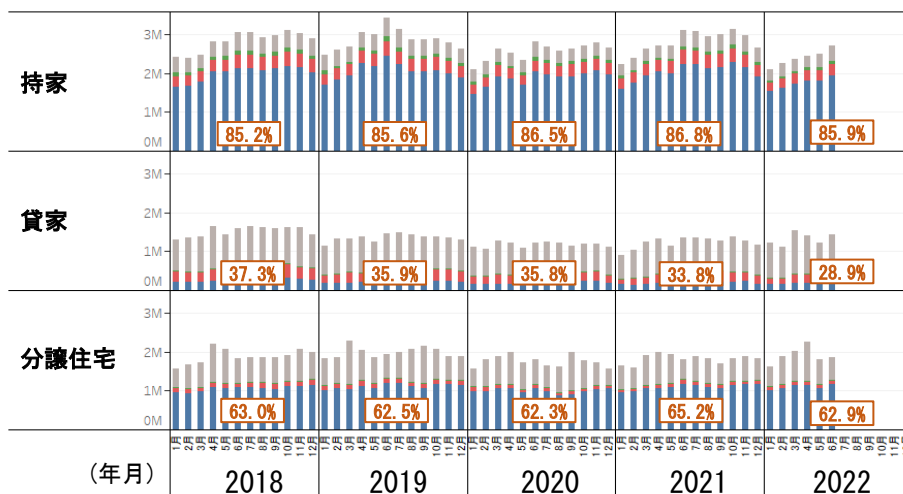
- 2021年の新設住宅着工床面積は、70.7百万m<sup>2</sup>（前年比106.3%）、このうち木造住宅は48.6百万m<sup>2</sup>（同107.9%）。
- 2022年1～6月の新設住宅着工床面積は、33.9百万m<sup>2</sup>（前年同期比100.0%）、このうち木造住宅は21.9百万m<sup>2</sup>（同95.5%）。



（単位：千m<sup>2</sup>）

構造別の着工床面積	2022年 1～6月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	33,928	33,919	100.0%	32,678	103.8%
■ 非木造	11,996	10,943	109.6%	10,885	110.2%
木造	21,932	22,976	95.5%	21,793	100.6%
■ 木造プレハブ	464	492	94.4%	535	86.7%
■ 2×4	3,337	3,508	95.1%	3,432	97.2%
■ 在来軸組	18,132	18,976	95.6%	17,826	101.7%
□ 木造率	64.6%	67.7%		66.7%	

（参考）利用関係別の着工床面積（ただし、「給与住宅」を除く。）



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（構造別）

（単位：千㎡、％）

年・月	合計	木造									非木造		木造率	木造1戸 当りの 床面積 (㎡/戸)	
		計		在来軸組			2×4		プレハブ		前年 比	前年 比			
		前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比							
2018年	1	5,325	85	3,594	99	2,833	99	660	104	101	89	1,731	66	67.5	92.2
	2	5,444	94	3,542	96	2,809	95	624	98	110	93	1,903	92	65.1	92.4
	3	5,600	93	3,718	96	2,968	95	652	97	99	95	1,882	88	66.4	93.6
	4	6,696	98	4,240	101	3,373	101	766	102	101	92	2,456	94	63.3	93.8
	5	6,415	100	4,122	99	3,347	101	677	91	98	86	2,292	103	64.3	95.0
	6	6,510	91	4,362	97	3,463	98	774	94	125	93	2,147	81	67.0	94.3
	7	6,590	98	4,379	99	3,497	100	759	95	123	102	2,211	97	66.4	93.3
	8	6,450	101	4,338	101	3,443	101	781	103	114	100	2,113	100	67.2	92.3
	9	6,478	98	4,397	100	3,481	100	799	99	117	96	2,080	96	67.9	90.8
	10	6,690	102	4,607	103	3,624	103	852	103	131	109	2,083	100	68.9	91.8
	11	6,768	101	4,491	100	3,584	100	790	98	117	95	2,277	103	66.4	93.4
	12	6,343	104	4,353	104	3,438	104	795	105	120	102	1,990	103	68.6	93.0
2019年	1	5,484	103	3,607	100	2,892	102	611	93	105	104	1,877	108	65.8	94.6
	2	5,828	107	3,818	108	3,077	110	645	103	95	87	2,011	106	65.5	95.4
	3	6,320	113	3,954	106	3,169	107	690	106	95	96	2,366	126	62.6	95.0
	4	6,532	98	4,413	104	3,592	106	708	92	112	112	2,119	86	67.6	97.7
	5	6,126	95	4,210	102	3,441	103	666	98	103	105	1,916	84	68.7	99.7
	6	6,849	105	4,760	109	3,840	111	787	102	133	106	2,089	97	69.5	99.0
	7	6,656	101	4,508	103	3,652	104	738	97	118	95	2,148	97	67.7	97.3
	8	6,397	99	4,175	96	3,378	98	696	89	102	89	2,221	105	65.3	95.6
	9	6,412	99	4,204	96	3,359	96	740	93	104	89	2,208	106	65.6	92.6
	10	6,386	95	4,357	95	3,505	97	743	87	109	83	2,030	97	68.2	93.2
	11	6,036	89	4,253	95	3,411	95	735	93	108	92	1,783	78	70.5	93.8
	12	5,850	92	4,040	93	3,258	95	683	86	99	83	1,810	91	69.1	94.3
2020年	1	4,821	88	3,249	90	2,620	91	547	90	81	78	1,572	84	67.4	96.0
	2	5,194	89	3,442	90	2,796	91	563	87	83	87	1,752	87	66.3	96.1
	3	5,848	93	3,886	98	3,142	99	653	95	92	96	1,962	83	66.4	96.8
	4	5,758	88	3,779	86	3,111	87	584	82	83	74	1,980	93	65.6	97.3
	5	5,195	85	3,441	82	2,833	82	516	77	92	89	1,754	92	66.2	96.6
	6	5,861	86	3,997	84	3,325	87	569	72	104	78	1,864	89	68.2	97.0
	7	5,616	84	3,857	86	3,153	86	606	82	97	83	1,760	82	68.7	95.3
	8	5,466	85	3,643	87	2,982	88	567	81	94	93	1,823	82	66.6	94.8
	9	5,825	91	3,784	90	3,040	90	647	87	97	93	2,040	92	65.0	94.7
	10	5,735	90	3,919	90	3,200	91	627	84	92	85	1,816	89	68.3	94.6
	11	5,750	95	4,097	96	3,351	98	645	88	101	94	1,653	93	71.3	94.4
	12	5,385	92	3,899	96	3,218	99	588	86	93	93	1,486	82	72.4	97.8
2021年	1	4,825	100	3,266	101	2,705	103	492	90	69	85	1,559	99	67.7	97.8
	2	5,045	97	3,473	101	2,881	103	522	93	70	84	1,572	90	68.8	98.0
	3	5,838	100	3,818	98	3,176	101	558	85	85	93	2,020	103	65.4	97.9
	4	6,064	105	3,990	106	3,297	106	610	104	83	100	2,074	105	65.8	97.2
	5	5,852	113	3,983	116	3,282	116	623	121	78	85	1,869	107	68.1	96.8
	6	6,295	107	4,445	111	3,635	109	703	124	107	103	1,849	99	70.6	97.2
	7	6,352	113	4,344	113	3,603	114	656	108	85	87	2,008	114	68.4	97.3
	8	6,147	112	4,251	117	3,476	117	675	119	100	106	1,897	104	69.1	95.3
	9	6,012	103	4,267	113	3,463	114	700	108	104	107	1,746	86	71.0	94.6
	10	6,390	111	4,464	114	3,641	114	716	114	108	116	1,925	106	69.9	96.2
	11	6,143	107	4,310	105	3,556	106	656	102	98	97	1,833	111	70.2	96.0
	12	5,702	106	3,953	101	3,258	101	611	104	84	91	1,749	118	69.3	96.7
2022年	1	4,968	103	3,232	99	2,710	100	464	94	58	84	1,736	111	65.1	95.9
	2	5,282	105	3,416	98	2,851	99	493	94	72	103	1,867	119	64.7	96.5
	3	5,953	102	3,728	98	3,053	96	595	107	80	94	2,225	110	62.6	95.0
	4	6,133	101	3,811	96	3,133	95	595	98	83	100	2,322	112	62.1	96.0
	5	5,564	95	3,712	93	3,074	94	563	90	75	96	1,852	99	66.7	96.6
	6	6,027	96	4,034	91	3,311	91	627	89	96	90	1,993	108	66.9	95.2
2018年計		75,309	97	50,144	100	39,860	100	8,929	99	1,356	96	25,165	93	66.6	93.0
2019年計		74,876	99	50,298	100	40,571	102	8,443	95	1,284	95	24,578	98	67.2	95.7
2020年計		66,454	89	44,991	89	36,770	91	7,111	84	1,110	86	21,463	87	67.7	95.9
2021年計		70,666	106	48,564	108	39,972	109	7,523	106	1,070	96	22,102	103	68.7	96.7
2018年	第1四半期	16,369	91	10,854	97	8,609	96	1,935	100	309	92	5,515	80	66.3	92.7
	第2四半期	19,621	96	12,725	99	10,184	100	2,217	96	324	90	6,896	92	64.9	94.3
	第3四半期	19,518	99	13,114	100	10,421	100	2,339	99	354	100	6,404	97	67.2	92.1
	第4四半期	19,802	102	13,452	102	10,646	103	2,438	102	368	102	6,350	102	67.9	92.7
2019年	第1四半期	17,632	108	11,378	105	9,137	106	1,947	101	295	95	6,254	113	64.5	95.2
	第2四半期	19,507	99	13,383	105	10,873	107	2,161	97	349	108	6,124	89	68.6	98.8
	第3四半期	19,465	100	12,887	98	10,388	100	2,175	93	324	91	6,578	103	66.2	95.2
	第4四半期	18,272	92	12,650	94	10,173	96	2,161	89	316	86	5,622	89	69.2	93.8
2020年	第1四半期	15,863	90	10,577	93	8,558	94	1,763	91	256	87	5,286	85	66.7	96.3
	第2四半期	16,815	86	11,216	84	9,269	85	1,669	77	279	80	5,598	91	66.7	96.9
	第3四半期	16,907	87	11,283	88	9,175	88	1,820	84	289	89	5,623	85	66.7	95.0
	第4四半期	16,870	92	11,915	94	9,769	96	1,859	86	286	91	4,955	88	70.6	95.3
2021年	第1四半期	15,708	99	10,557	100	8,761	102	1,572	89	224	87	5,152	97	67.2	97.9
	第2四半期	18,211	108	12,419	111	10,215	110	1,936	116	268	96	5,792	103	68.2	97.1
	第3四半期	18,512	109	12,862	114	10,541	115	2,031	112	289	100	5,651	100	69.5	95.7
	第4四半期	18,235	108	12,727	107	10,454	107	1,983	107	289	101	5,508	111	69.8	96.3
2022年	第1四半期	16,203	103	10,375	98	8,614	98	1,552	99	209	94	5,828	113	64.0	95.8
	第2四半期	17,725	97	11,557	93	9,518	93	1,785	92	254	95	6,168	106	65.2	95.9





<参考>非居住用建築物着工床面積

(単位:千m<sup>2</sup>、%)

年次	月	合計		構造別			
				木造		非木造	
		前年比	前年比	前年比	前年比		
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,572	106	952	97	12,620	107

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

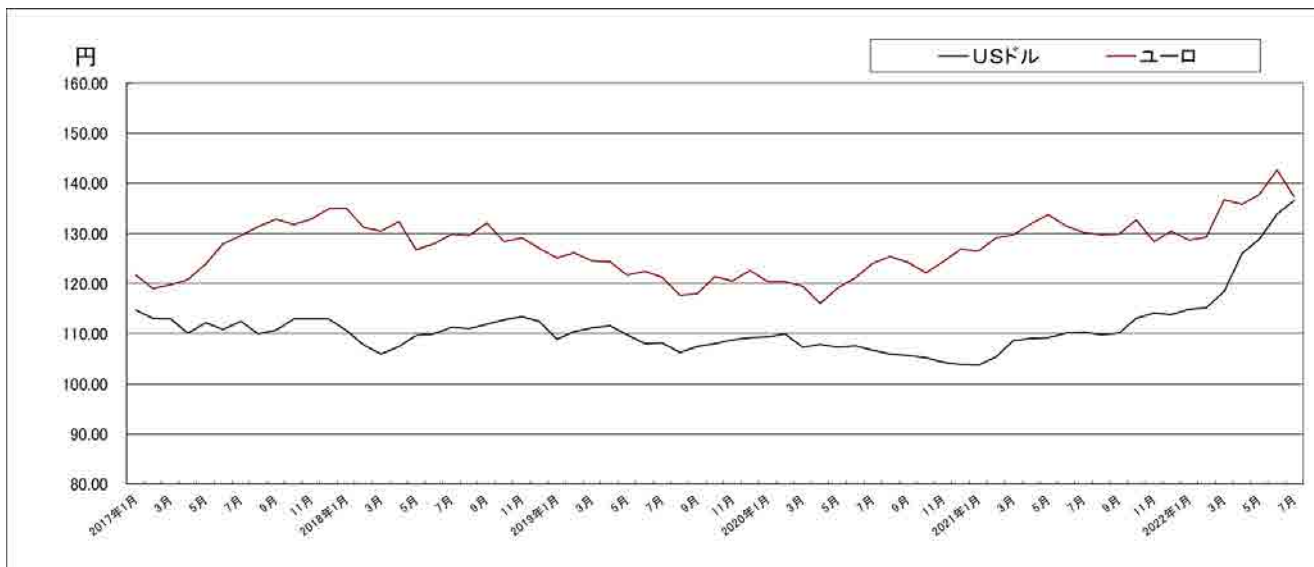
## 基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2021年は、木材産業の倒産件数が19件（前年比70.3%）、負債金額が4,313百万円（同112.0%）。
- 2022年1～6月は、木材産業の倒産件数が8件（前年同期比53.3%）、負債金額が5,103百万円（同128.4%）。

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2019年	1	666	105	168,374	161	0	-	0	-
	2	589	95	195,534	217	1	100	10	2
	3	662	84	97,114	73	1	33	532	51
	4	645	99	106,916	112	2	50	797	111
	5	695	91	107,465	103	3	100	795	313
	6	734	106	86,957	40	1	25	59	8
	7	802	114	93,400	83	5	500	347	694
	8	678	98	87,149	72	3	300	278	150
	9	702	113	112,985	61	6	300	959	3,197
	10	780	107	88,578	75	2	100	91	1
	11	727	101	122,452	101	2	200	470	904
	12	704	113	156,864	192	4	200	543	32
2020年	1	773	116	124,734	74	0	-	0	-
	2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	-	0	-
2019年計		8,384	102	1,423,788	96	30	115	4,881	40
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2019年	第1四半期	1,917	94	461,022	141	2	33	542	33
	第2四半期	2,074	98	301,338	72	6	55	1,651	99
	第3四半期	2,182	108	293,534	70	14	350	1,584	598
	第4四半期	2,211	107	367,894	115	8	160	1,104	13
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2022年7月の為替相場は、1ドル136.63円、1ユーロ137.25円。



年月	USDドル	ユーロ
2017年1月	114.73	121.75
2月	113.06	118.98
3月	113.01	119.79
4月	110.06	120.85
5月	112.21	123.95
6月	110.91	127.97
7月	112.44	129.65
8月	109.91	131.34
9月	110.68	132.85
10月	112.96	131.76
11月	112.92	132.81
12月	112.97	134.94
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54

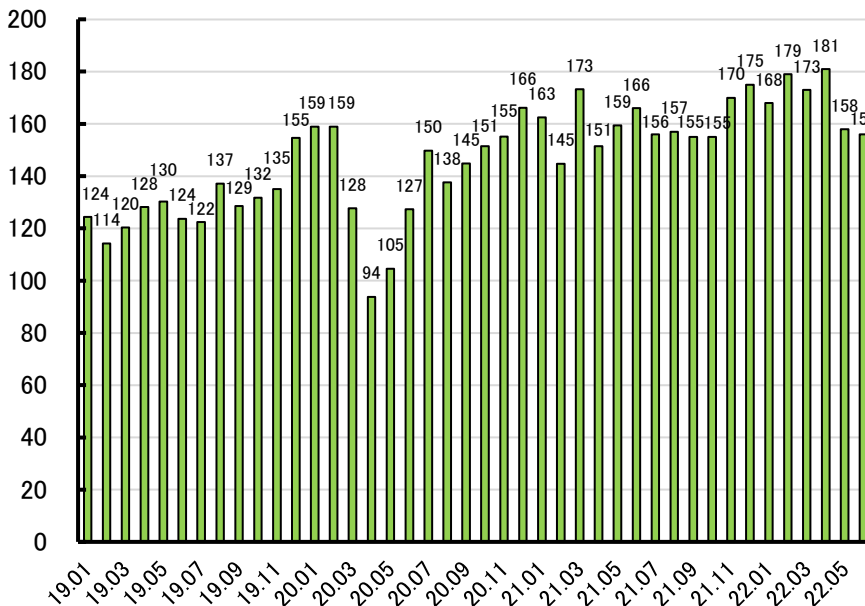
年月	USDドル	ユーロ
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。



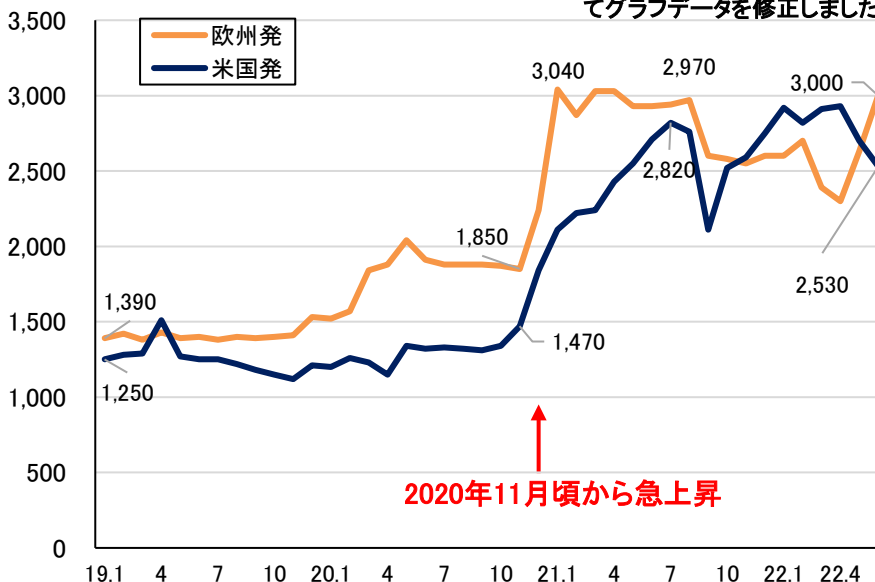
- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には181万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向。2022年6月は前月比98%の156万戸。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持。

○米国における住宅着工戸数  
(万戸)



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移  
(米ドル/個)



※2022年6月に出典元のDrewry社集計データの一部(欧州発コンテナ運賃)が修正されたため、それに併せてグラフデータを修正しました。

2020年11月頃から急上昇

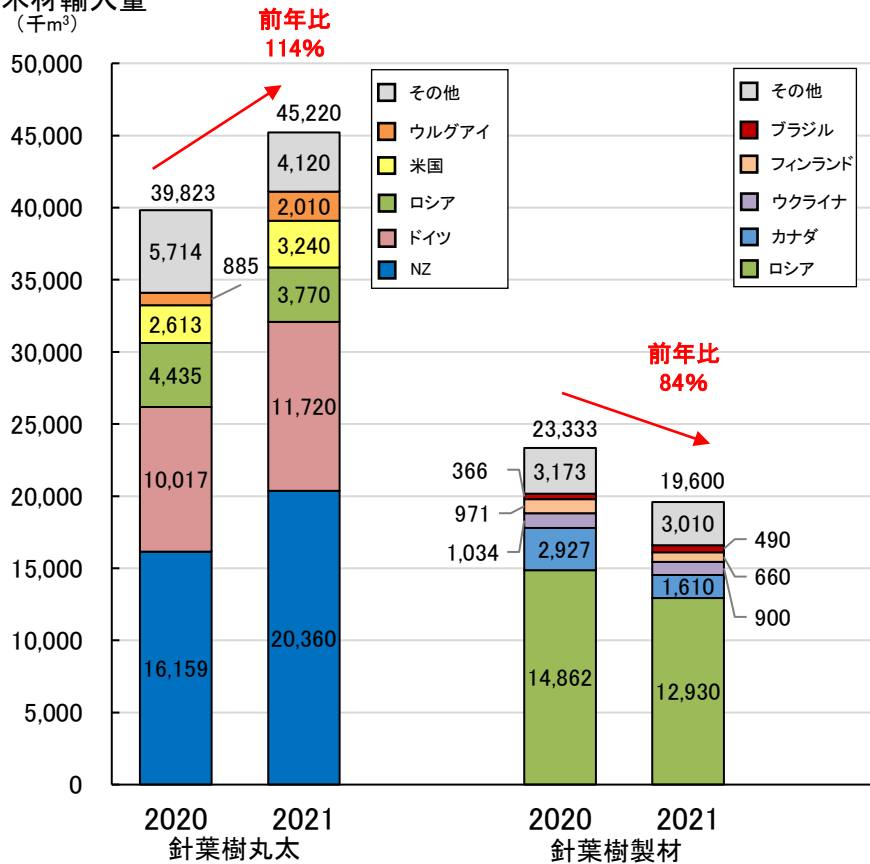
資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横濱着、「欧州発」はRotterdam発横濱着。

(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」

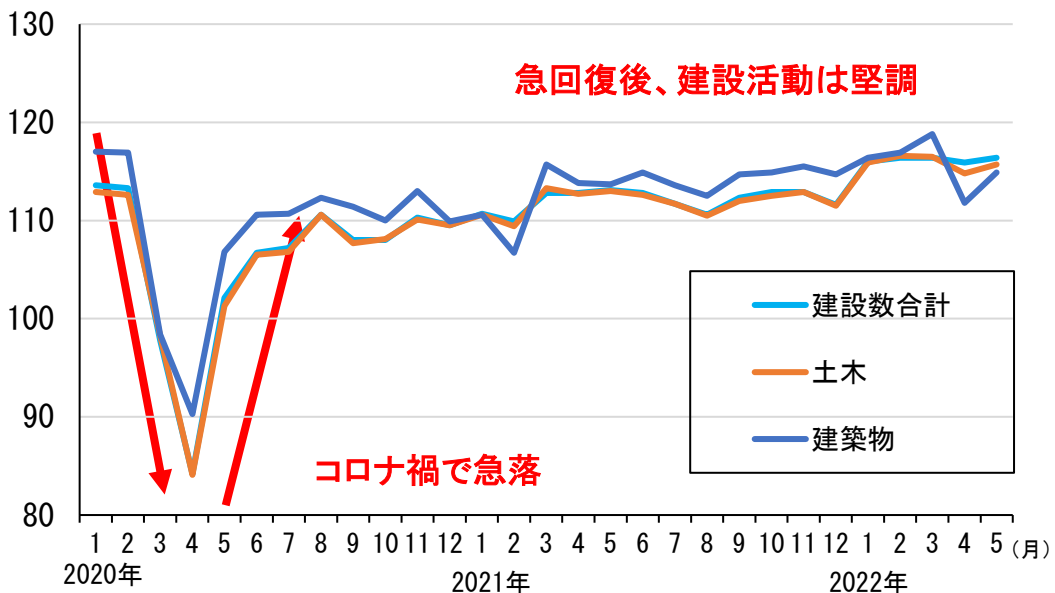
- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比114%の4,522万m<sup>3</sup>。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比84%の1,960万m<sup>3</sup>。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

○中国の木材輸入量  
(千m<sup>3</sup>)



資料:ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))

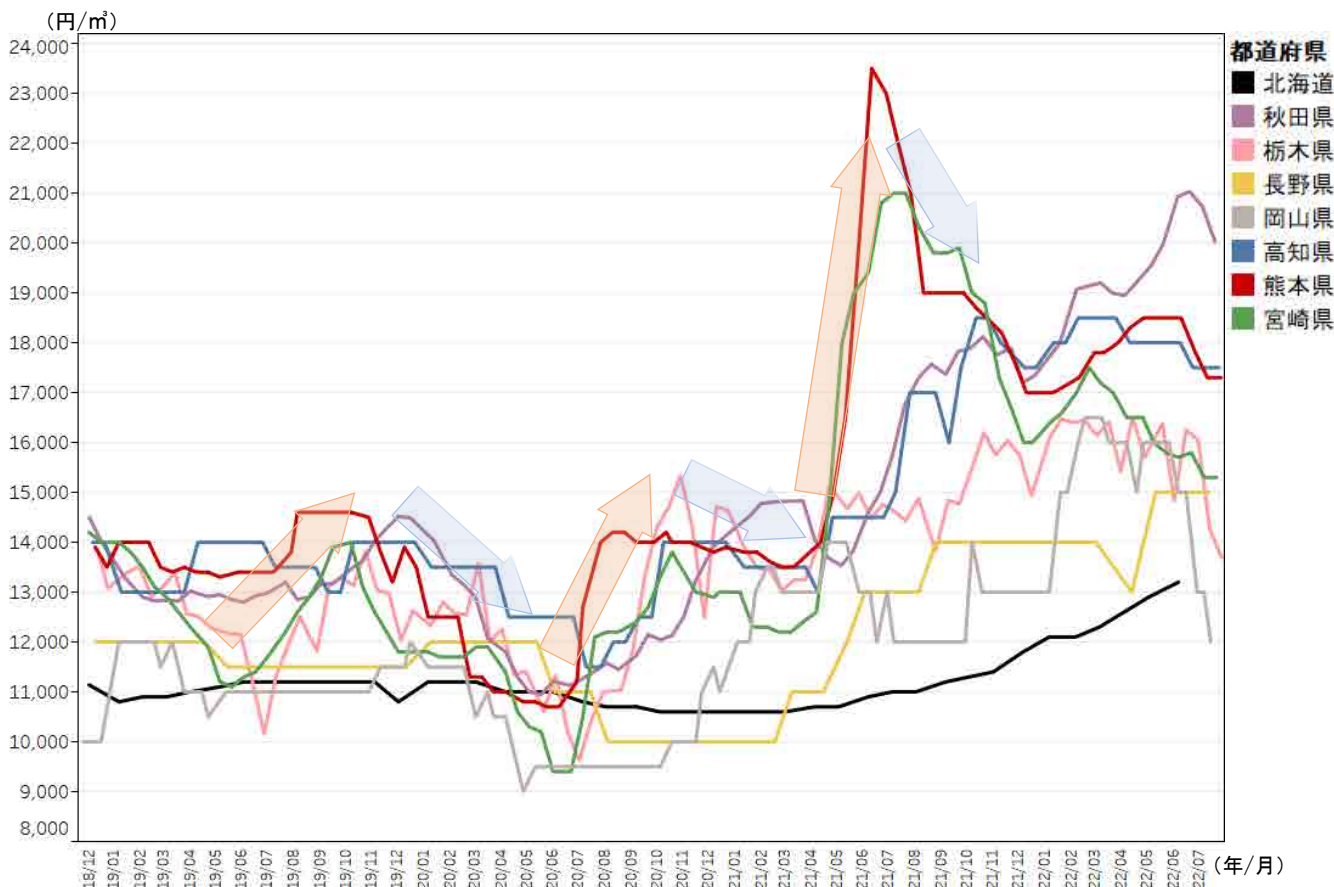
○EUにおける建設活動水準 (2015年比)  
2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

## 木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 2021年4月以降、いわゆるウッドショックにより価格が大きく上昇し、その後一部の地域で下落したが、全般的には、2021年3月以前と比較すると高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、12,000円～20,030円となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の前木市場・共販所の価格。

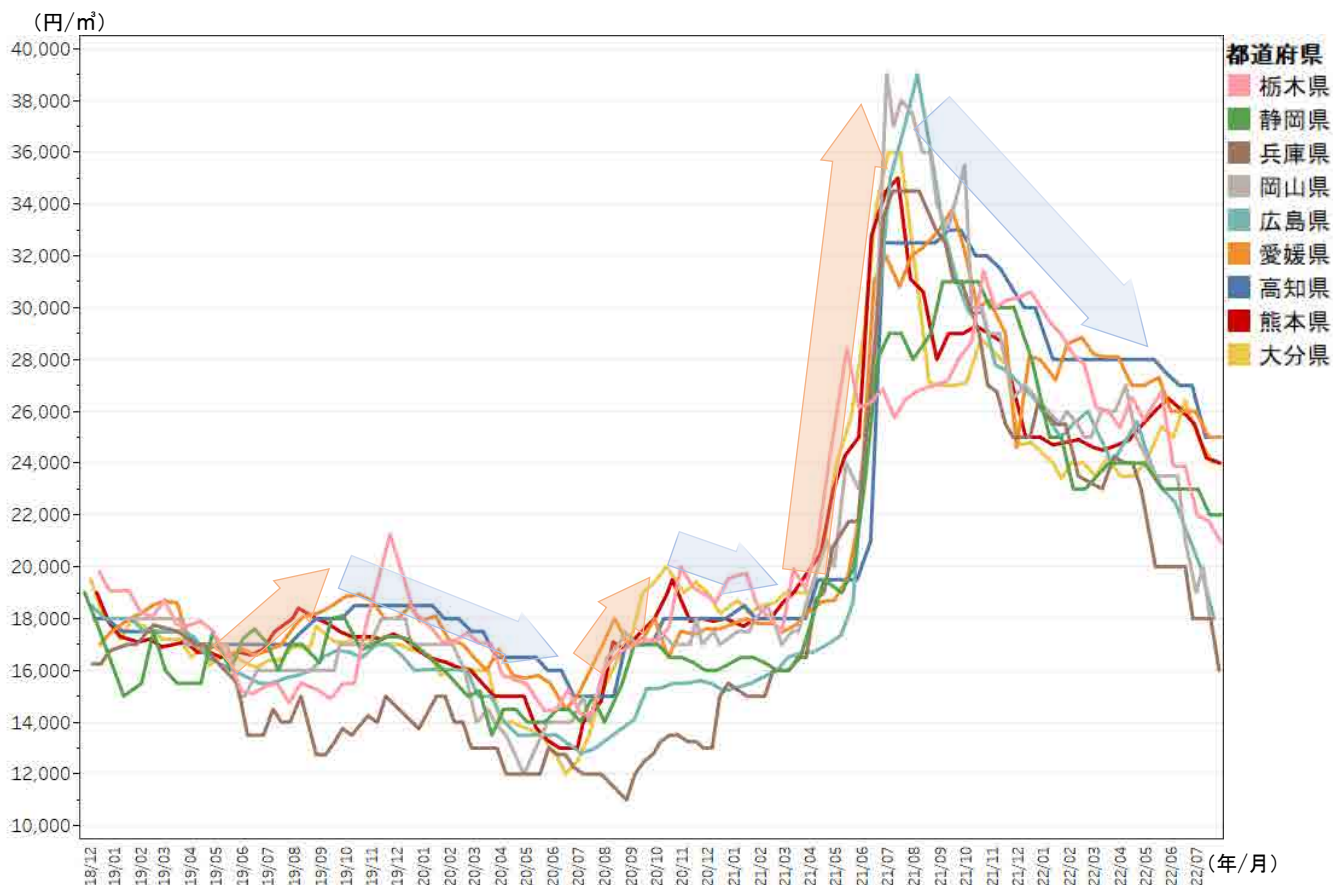
(単位：円)

都道府県	2022年直近*	前年同期	前年同期比
■ 北海道	13,200	10,900	121%
■ 秋田県	20,030	16,770	119%
■ 栃木県	13,690	14,620	94%
■ 長野県	15,000	13,000	115%
■ 岡山県	12,000	12,000	100%
■ 高知県	17,500	17,000	103%
■ 熊本県	17,300	21,000	82%
■ 宮崎県	15,300	21,000	73%

※北海道については6月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については7月の値を使用。

## 木材価格情報-1 ヒノキ原木の主要市場価格

- ヒノキにおいてもスギと同様に、2021年4月以降、価格が大きく上昇。その後下落傾向に転じているが、2021年3月以前と比較すると全般的に高い水準で推移。
- 直近のヒノキ原木価格は、16,000円～25,000円となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円)

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	20,960	26,450	79%
静岡県	22,000	28,000	79%
兵庫県	16,000	34,500	46%
岡山県	18,000	38,000	47%
広島県	18,000	37,000	49%
愛媛県	25,000	32,000	78%
高知県	25,000	32,500	77%
熊本県	24,000	31,100	77%
大分県	24,000	36,000	67%

※各県7月の値を使用。





# 木材価格情報-2 木材価格、製品価格②

年次	月	構造用集成材						チップ							
		スギ集成管柱			ホワイトウッド集成管柱			チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		国産、無化粧			国産、無化粧			針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		105角×2.98~3m JAS		対前 年比 (%)	105角×2.98~3m JAS		対前 年比 (%)	(円/m <sup>3</sup> )	対前 年比 (%)	(円/m <sup>3</sup> )	対前 年比 (%)	(円/t)	対前 年比 (%)	(円/t)	対前 年比 (%)
2019年	1														
	2							6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102
	3							6,200	102	9,300	101	14,200	101	19,000	102
	4							6,200	103	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	5							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	6							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	7							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	8							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	9							6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,000	101
	10							6,400	103	9,500	103	14,700	104	19,300	103
	11							6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102
	12							6,500	105	9,500	102	14,800	103	19,300	102
2020年	1	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	103	14,900	105	19,400	102
	2	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	3	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	105	9,400	101	14,900	105	19,400	102
	4	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	5	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	6	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	7	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	8	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	9	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	10	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	102	9,500	100	14,800	101	19,300	100
	11	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
	12	60,469	2,000		57,445	1,900		6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	1	63,492	2,100	105	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,800	99	19,400	100
	2	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,800	98	19,300	99
	3	60,469	2,000	95	60,469	2,000	100	6,500	100	9,500	101	14,600	98	19,300	99
	4	63,492	2,100	105	66,515	2,200	110	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	5	66,515	2,200	110	72,562	2,400	120	6,700	103	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	6	72,562	2,400	120	84,656	2,800	140	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	7	75,586	2,500	119	96,750	3,200	160	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	8	90,703	3,000	143	117,914	3,900	195	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	9	96,750	3,200	152	142,101	4,700	235	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	10	105,820	3,500	175	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
	11	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	101
	12	111,867	3,700	185	154,195	5,100	268	6,700	103	9,500	100	14,600	99	19,400	101
2022年	1	111,867	3,700	176	157,218	5,200	274	6,700	103	9,500	100	15,000	101	19,400	100
	2	114,890	3,800	190	157,218	5,200	274	6,700	103	9,600	101	15,000	103	19,400	101
	3	111,867	3,700	185	154,195	5,100	255	6,800	105	9,600	101	15,100	103	19,400	101
	4	114,890	3,800	181	154,195	5,100	232	6,900	106	9,700	102	15,200	104	19,600	102
	5	114,890	3,800	173	154,195	5,100	213	7,000	104	9,700	102	15,300	105	19,800	103
	6	114,890	3,800	158	154,195	5,100	182	7,000	104	9,800	103	15,300	104	19,800	103
	7	111,867	3,700	148	142,101	4,700	147	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,800	103
2019年								6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,100	102
2020年		60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
2021年		81,633	2,700	135	102,797	3,400	170	6,600	102	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2019年	第1四半期							6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102
	第2四半期							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	第3四半期							6,300	105	9,300	101	14,500	103	19,000	101
	第4四半期							6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102
2020年	第1四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	第2四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	第3四半期	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	第4四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	第1四半期	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	第2四半期	66,515	2,200	110	75,586	2,500	125	6,600	102	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	第3四半期	87,680	2,900	138	117,914	3,900	195	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	第4四半期	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
2022年	第1四半期	111,867	3,700	185	157,218	5,200	274	6,700	103	9,600	101	15,000	102	19,400	101
	第2四半期	114,890	3,800	173	154,195	5,100	204	7,000	106	9,700	102	15,300	105	19,700	102

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成材工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。

2 構造用集成材のm3当たりの価格は、1本を0.033075m3に換算して算出した。

3 2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。

(速報値は今後修正される可能性がある)

<参考>都道府県別データ ※農林水産省統計部による調査結果

○スギ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	10,500	10,500	10,500	10,500	11,600	11,600	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,800	11,700	11,800	12,600	13,000	13,400	13,800	13,800	14,100	14,400	14,800	15,100
宮城	11,300	11,500	11,700	11,900	12,100	12,700	12,700	12,300	12,400	12,400	13,400	14,100
秋田	11,100	11,400	11,500	11,500	11,600	11,700	11,900	12,800	13,100	13,600	13,500	13,500
山形	11,200	11,200	11,200	11,500	11,900	11,900	14,200	14,300	14,400	16,300	16,300	16,300
福島	12,800	12,100	12,100	11,400	12,600	12,700	13,000	12,400	13,000	13,000	13,600	14,200
栃木	13,800	13,800	13,800	13,800	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	16,500
岐阜	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	15,000	15,000	16,100	16,100	16,600	16,600	16,600
静岡	13,600	13,600	13,800	14,100	14,700	16,100	17,200	17,500	17,900	17,900	18,300	18,000
三重	12,700	12,500	12,900	13,300	14,300	15,300	15,800	16,100	17,100	17,100	17,200	17,200
奈良	11,600	12,600	12,600	13,100	13,200	15,200	15,200	15,200	15,200	15,300	15,300	15,300
岡山	11,100	11,500	12,100	13,200	13,200	13,700	14,300	14,300	13,900	13,900	13,900	14,300
徳島	14,500	14,500	14,500	14,800	14,800	16,600	16,600	17,200	17,200	17,600	17,600	17,600
愛媛	15,900	15,900	15,400	15,900	15,900	18,100	19,900	20,000	20,000	19,900	19,800	18,600
佐賀	13,800	14,100	14,100	14,600	15,400	17,600	23,100	23,100	21,400	19,800	19,200	17,600
熊本	14,900	14,900	14,900	14,900	18,300	21,900	18,000	21,800	21,700	21,700	21,400	21,000
大分	15,000	14,400	14,400	14,900	16,000	20,700	21,800	19,900	18,700	18,300	18,500	18,800
宮崎	14,000	13,600	13,700	13,900	17,400	19,800	20,600	20,500	20,900	20,600	18,700	17,900
鹿児島	13,900	13,600	13,400	13,900	18,700	21,200	22,200	22,200	21,500	21,500	21,000	19,900

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
青森	12,100	12,100	14,300	14,400	14,400	14,400	14,400
岩手	15,400	16,100	16,400	16,700	17,400	17,900	17,800
宮城	15,400	15,600	16,200	17,000	17,000	15,900	14,800
秋田	13,500	14,600	14,700	14,900	15,100	15,100	15,100
山形	17,100	17,200	17,200	18,100	18,400	18,400	19,400
福島	14,600	14,600	14,600	13,400	13,200	13,500	14,100
栃木	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	15,400	15,400
岐阜	16,600	16,600	16,600	17,700	18,300	18,300	18,300
静岡	18,200	18,500	18,800	18,900	19,300	19,300	18,900
三重	17,100	17,300	17,400	18,100	18,600	18,200	17,400
奈良	16,800	16,800	16,800	17,900	17,900	17,900	17,400
岡山	13,800	13,800	13,800	13,800	15,300	15,300	14,300
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600
愛媛	18,600	20,800	22,900	23,000	22,900	22,900	20,800
佐賀	17,000	17,000	17,600	17,600	17,600	17,600	17,100
熊本	19,400	21,400	21,400	19,000	21,300	21,700	21,400
大分	18,800	19,500	18,600	17,800	18,000	17,700	17,500
宮崎	17,200	17,800	18,000	17,700	17,700	17,700	17,500
鹿児島	18,800	18,300	18,300	18,300	18,800	18,700	18,700

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	22,900	20,500	20,800	26,000	30,200	30,600	30,900	30,900	31,300	33,000	34,800	35,800
茨城	21,200	20,400	20,400	21,700	25,600	26,100	26,500	26,500	27,300	29,000	29,600	29,600
栃木	20,100	20,100	20,000	20,300	24,700	28,900	28,900	28,800	28,800	28,900	29,100	30,100
岐阜	17,700	17,700	18,100	17,700	18,400	27,000	27,900	30,800	31,200	31,700	32,600	29,100
静岡	20,000	19,900	20,300	21,000	21,600	27,000	31,500	36,700	38,600	40,800	40,300	39,300
三重	13,700	13,900	14,100	14,500	15,800	20,600	21,800	25,200	26,500	27,200	25,500	24,800
兵庫	20,700	20,700	22,900	24,000	24,100	30,700	35,500	33,100	32,900	32,900	33,000	33,000
奈良	14,700	15,800	15,800	16,400	16,400	20,000	20,000	22,000	27,000	30,000	30,000	28,800
和歌山	15,900	15,900	15,900	16,800	19,600	21,600	21,600	21,900	21,900	27,000	27,700	27,700
岡山	21,400	21,500	21,700	22,600	23,500	24,500	31,700	30,800	30,600	30,100	29,600	27,200
愛媛	21,100	21,100	21,100	21,900	22,400	26,100	39,100	42,700	44,300	45,700	39,700	31,400
高知	17,500	19,100	19,000	19,100	20,400	21,900	26,200	33,800	31,600	31,300	32,700	28,800
熊本	20,800	21,100	21,100	21,900	27,300	33,500	37,500	36,700	33,000	33,600	35,700	28,700
大分	12,100	14,300	15,300	17,200	17,900	24,400	29,200	30,800	30,600	29,200	28,900	28,600
宮崎	19,300	19,100	18,600	19,800	22,000	27,500	31,900	37,300	34,100	34,100	33,200	32,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
福島	35,500	34,900	34,400	32,800	32,800	30,600	27,400
茨城	29,400	28,300	28,000	28,000	27,800	26,800	24,500
栃木	31,100	31,000	30,000	29,700	29,700	28,700	28,700
岐阜	30,500	28,900	28,900	28,900	27,600	27,000	26,600
静岡	33,300	31,000	29,400	29,400	28,900	28,500	27,600
三重	25,600	26,900	27,000	27,200	26,200	24,500	22,800
兵庫	33,000	32,900	30,700	30,600	30,600	30,500	27,200
奈良	29,900	29,900	30,000	28,900	27,800	26,800	23,800
和歌山	25,900	25,900	25,900	25,900	25,500	25,500	23,700
岡山	22,300	22,000	26,200	27,900	24,900	24,400	23,900
広島	35,900	28,900	28,600	28,200	27,300	26,700	26,800
愛媛	30,100	29,000	28,200	27,200	28,100	28,200	27,700
高知	29,900	29,100	27,200	27,400	27,200	26,400	26,800
熊本	30,300	27,600	27,500	27,100	28,100	28,200	26,800
大分	27,300	25,100	23,400	19,800	17,600	15,400	19,000
宮崎	31,200	30,100	27,500	25,300	24,800	25,000	23,900

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	11,900	12,000	11,900	11,900	11,900	12,500	12,700	12,800	13,100	13,200	13,300	13,300
岩手	17,600	17,600	17,600	17,700	18,300	18,800	20,100	20,100	20,800	20,900	21,000	21,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000	14,500	15,800	15,500
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500	31,500	32,000	32,200

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,900	10,600	11,300	11,700	12,400
宮城	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900	11,100	11,100	11,600	11,900	13,300	14,400	14,400
秋田	10,300	10,300	10,300	10,600	10,500	10,600	10,600	11,200	11,400	11,500	12,900	13,300
島根	11,900	12,700	12,800	12,800	12,900	13,000	13,200	13,800	14,300	14,800	14,900	14,900

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100	14,100	15,100	14,500
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900	17,800	17,800	18,100
島根	14,300	14,900	15,000	15,300	15,600	15,500	15,700

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	52,900	52,900	52,900	66,800	72,000	98,700	98,700	98,700	98,700	98,700	98,500	88,000
東京	x	x	x	x	66,000	66,000	66,000	61,200	61,200	61,200	61,200	61,200
大阪	55,000	55,000	58,100	61,900	65,000	80,500	92,900	105,800	105,800	105,800	105,800	105,800
福岡	38,900	38,900	38,900	41,800	44,000	53,600	56,900	57,200	57,200	59,300	58,600	58,600

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉			88,000			88,000
東京			58,800			58,800
大阪			103,100			103,100
福岡			58,600			60,500

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は10月。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	60,900	61,000	64,100	86,000	97,800	132,500	137,600	138,800	143,200	143,000	142,700	142,300
千葉	69,100	69,400	70,100	86,300	99,000	125,500	147,100	152,300	153,100	153,100	146,900	142,900
東京	71,400	71,400	71,400	71,500	85,900	115,400	142,600	142,900	148,300	148,300	148,300	148,300
神奈川	66,300	68,100	68,500	77,400	79,400	111,200	131,700	152,000	153,000	153,100	153,100	153,100
愛知	71,300	71,300	71,300	80,700	89,100	107,500	121,800	121,800	121,800	121,800	121,600	116,100
大阪	70,600	70,600	70,900	76,800	82,500	99,000	111,200	111,200	111,200	112,500	112,500	112,500
兵庫	70,200	70,200	71,500	79,300	91,500	113,300	128,000	142,700	142,700	142,700	142,700	142,700
福岡	62,000	62,000	62,000	67,400	77,800	93,100	103,900	112,900	113,600	120,400	120,400	120,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500	125,500	124,400	123,700
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800	140,800	140,800	140,800
東京	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,800
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000	153,000	152,300	151,600
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800	120,100	120,100	120,100
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500	122,300	121,700	121,700
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900	146,000	143,700	143,700
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400	120,400	120,300	120,300

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉県	71,900	71,900	71,900	73,900	84,800	86,000	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200
東京都	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
愛知県	85,400	85,400	85,400	86,700	88,000	92,500	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100
大阪府	62,400	62,400	71,300	67,900	72,000	83,200	108,700	118,200	145,700	129,000	129,000	125,800
兵庫県	66,800	66,800	67,200	69,500	76,400	79,600	87,400	99,300	120,700	120,400	120,400	116,100
福岡県	50,300	50,300	50,300	50,300	55,800	66,000	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉県			98,200			98,100
東京都			x			x
愛知県			94,800			94,800
大阪府			119,700			112,100
兵庫県			116,300			114,300
福岡県			82,500			86,600

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は10月。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	78,200	78,200	79,000	91,400	100,900	138,900	147,000	148,000	164,300	168,700	167,900	160,200
千葉県	94,000	94,900	95,800	105,500	114,200	131,500	149,300	161,300	161,300	165,900	163,800	164,900
東京都	98,900	98,900	98,900	98,900	104,500	121,000	142,900	143,100	159,500	175,800	175,800	175,800
神奈川県	78,700	79,000	84,100	94,800	110,500	146,200	178,800	184,700	186,300	187,400	187,400	187,400
愛知県	94,700	94,700	94,700	97,500	102,900	113,500	128,100	129,400	142,400	142,900	165,700	161,900
大阪府	80,100	80,100	82,800	90,600	98,000	128,900	169,100	192,900	193,800	193,800	193,800	181,100
兵庫県	78,900	78,900	79,700	88,600	101,800	113,800	152,600	179,600	188,800	188,400	188,400	180,800

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
埼玉県	145,600	142,500	142,500	142,500	142,500	141,800	139,800
千葉県	171,400	169,100	169,100	164,800	164,800	164,800	164,800
東京都	175,500	175,400	175,400	175,500	175,500	175,500	175,200
神奈川県	187,400	185,300	185,300	185,300	185,300	181,900	178,600
愛知県	159,400	159,400	151,900	149,700	149,700	149,700	137,000
大阪府	176,400	169,900	163,600	162,600	161,700	159,800	154,400
兵庫県	184,800	178,400	173,900	168,100	168,100	161,200	156,600

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	78,900	78,900	79,900	85,600	98,600	104,600	116,100	129,300	139,300	139,300	141,300	141,300
千葉県	78,200	78,500	78,500	85,600	91,900	100,300	119,100	129,800	139,400	139,400	139,400	138,500
神奈川県	81,000	82,000	84,500	86,500	95,700	105,600	117,700	133,300	137,400	139,700	139,700	142,200
愛知県	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	145,500
大阪府	79,200	79,200	84,200	93,500	96,200	104,500	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000
兵庫県	79,200	79,200	80,500	88,000	93,500	103,300	107,700	114,300	121,000	121,000	121,000	121,000

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道			135,700			138,000
埼玉県			144,700			148,800
千葉県			139,800			142,400
東京都			154,400			154,400
神奈川県			142,200			143,100
愛知県			158,300			158,300
大阪府			121,000			132,000
兵庫県			138,500			141,800

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は10月。

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2021年

単位：円/枚

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	1,180	1,180	1,190	1,190	1,260	1,320	1,360	1,390	1,510	1,520	1,590	1,760
東京都	1,360	1,360	1,360	1,360	1,390	1,410	1,440	1,460	1,510	1,580	1,640	1,760
大阪府	1,030	1,030	1,030	1,030	1,060	1,060	1,110	1,150	1,170	1,290	1,330	1,660

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月
埼玉県			2,220			2,420
東京都			2,140			2,420
大阪府			1,840			1,990

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は10月。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材及び針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。



○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2021年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
宮崎	1,800	1,900	1,900	2,000	2,200	2,700	2,900	3,000	3,200	3,800	4,400	4,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
秋田	x	4,700	4,400	4,400	4,300	4,200	4,000
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300	4,400	4,400

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2021年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山	2,000	2,000	2,100	2,300	2,300	2,800	2,900	3,500	4,400	5,100	5,100	5,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	4,900

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

## ○チップ用丸太（針葉樹）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	7,000
青森	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
宮城	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
秋田	6,600	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,700	6,900	6,700	6,500	6,200	6,000	6,100	6,100	6,200	5,900	6,100	5,900
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,700	5,700	5,700	5,900	6,400	6,500
長野	6,000	6,000	6,000	6,000	6,100	6,200	6,400	6,400	6,400	6,400	6,500	6,800
京都	7,900	8,000	8,000	8,000	8,100	8,300	8,300	8,400	8,400	8,600	8,600	8,600
兵庫	6,300	6,300	6,800	6,800	6,300	6,400	6,500	6,500	6,500	6,600	6,600	6,600
島根	9,200	8,000	9,200	9,300	9,700	9,700	9,700	9,500	9,900	9,600	9,900	9,200
広島	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
高知	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,800	5,900	5,600	5,500	5,400	5,300	5,500
熊本	6,200	6,800	6,400	6,300	6,600	6,300	6,600	6,400	7,200	6,500	6,600	6,900
宮崎	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,000	7,900	7,800	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100	7,100	7,300	7,200
青森	6,500	6,500	6,500	6,800	6,800	6,800	7,000
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,300	7,300	7,300
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700	5,800	5,800	5,800
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000	7,000	7,000	7,000
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100	6,200	6,200	6,100	6,100
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100	6,900	7,200	7,300
長野	6,800	6,700	6,700	6,700	6,800	6,800	6,800
京都	8,600	8,600	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	7,200
島根	9,700	9,200	9,200	9,700	9,600	9,700	10,100
広島	5,000	5,000	5,000	5,600	6,000	6,300	6,400
高知	5,400	5,600	5,500	5,700	5,800	5,400	5,700
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000	7,000	7,800	7,000
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,200

## ○チップ用丸太（広葉樹）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
青森	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
岩手	10,700	10,700	10,500	10,600	10,700	10,700	10,700	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	8,900	8,800	8,900	8,900	8,900	8,800	8,900	8,800	8,800	8,800	8,900
山梨	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000	6,200	6,400	6,500
山梨	10,600	10,400	10,500	10,500	10,700	10,600	10,500	10,400	10,400	10,300	10,200	10,400
広島	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
熊本	8,000	8,400	8,300	8,300	8,600	8,800	8,700	8,600	8,700	8,300	8,500	8,300
宮崎	8,600	8,300	8,600	8,400	8,400	8,400	8,500	8,600	8,500	8,400	8,400	8,200
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700	9,700	9,900	9,900
青森	11,600	11,600	11,600	11,900	11,900	11,900	12,100
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100	11,200	11,200	11,200
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,900	8,900	8,900
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000	12,000	12,400	12,500
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900	8,900	8,800	8,800	8,800
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500	6,800	6,800	7,000
島根	10,500	10,300	10,400	10,600	10,600	10,500	10,700
広島	6,000	6,100	6,100	6,100	6,200	6,200	6,200
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800	9,100	9,000	8,800
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100	8,500	8,500	8,300
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

## ○木材チップ（針葉樹）

・2021年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,700	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
青森	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
岩手	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800
宮城	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
秋田	16,100	15,900	16,000	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,200	16,200	15,900	15,900
福島	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,100
茨城	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	24,600	22,400	20,900	20,900	20,900
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	18,100	18,100	19,200	19,200	19,200	19,200	19,200
兵庫	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100
岡山	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
広島	13,400	11,500	11,400	11,500	11,500	11,600	11,600	11,600	11,700	11,700	11,600	11,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,100	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	15,000
青森	15,600	15,600	15,600	16,200	16,300	16,300	16,700
岩手	15,800	15,800	15,800	15,900	16,200	16,200	16,200
宮城	18,600	18,600	18,600	18,800	19,000	19,000	19,000
秋田	15,900	16,400	16,400	16,500	16,700	16,800	16,800
福島	18,100	18,100	18,100	18,100	18,400	18,400	18,400
茨城	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	19,200	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,900
兵庫	17,100	17,100	17,100	18,700	18,800	18,800	19,300
岡山	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500
広島	15,300	15,300	15,600	15,600	15,600	15,800	15,900
徳島	20,900	20,900	20,900	20,900	21,300	21,300	21,300
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,200	19,500	19,500	19,700
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

## ○木材チップ（広葉樹）

・2021年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400
青森	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500
岩手	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
秋田	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,700	20,700	20,700	20,300	20,300
福島	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	16,000	16,000
島根	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
広島	20,800	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
熊本	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
宮崎	19,700	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,700	20,700	20,700	20,800
青森	18,500	18,500	18,500	18,800	18,800	18,800	19,100
岩手	18,600	18,600	18,600	18,700	19,000	19,000	19,000
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,800	19,800	19,800
秋田	20,300	20,300	20,300	22,000	22,000	22,000	22,000
福島	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600	15,600	15,900	15,900	16,000
島根	20,800	20,800	20,800	21,700	22,400	22,400	22,400
広島	19,700	19,800	19,800	19,700	19,700	19,700	19,700
熊本	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,600
宮崎	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「X」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

# 木材需給情報-1 木材需要の動向（2020年木材需給表）

- 木材の総需要量は、74,439千 $m^3$ で前年に比べ7,466千 $m^3$ （9.1%）減少。用材は、61,392千 $m^3$ で前年に比べ9,877千 $m^3$ （13.9%）減少。しいたけ原木も242千 $m^3$ で前年に比べ9千 $m^3$ （3.6%）減少。燃料材は、12,805千 $m^3$ で前年に比べ2,419千 $m^3$ （23.3%）増加。
- 国内消費量は、71,430千 $m^3$ で前年に比べ7,760千 $m^3$ （9.8%）減少。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の2,418千 $m^3$ （23.3%）であり、その他は減少。
- 輸出量は、3,009千 $m^3$ で前年に比べ294千 $m^3$ （10.8%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、丸太の254千 $m^3$ （22.5%）、製材品の39千 $m^3$ （16.5%）、木材パルプ・チップ等（用材）の18千 $m^3$ （1.6%）、燃料材の1千 $m^3$ （25.0%）。

## 木材需要の動向

区 分			2020年		2019年		対前年 増減量 (千 $m^3$ )	対前年 増減率 (%)
			数量 (千 $m^3$ )	構成比 (%)	数量 (千 $m^3$ )	構成比 (%)		
総 需 要 量	用 材	製材用材	24,597	33.0	27,619	33.7	△ 3,022	△ 10.9
		パルプ・チップ用材	26,064	35.0	31,579	38.6	△ 5,515	△ 17.5
		合板用材	8,919	12.0	10,474	12.8	△ 1,555	△ 14.8
		その他用材	1,812	2.4	1,597	1.9	215	13.5
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3	
計			<b>74,439</b>	<b>100.0</b>	<b>81,905</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 7,466</b>	<b>△ 9.1</b>
国 内 消 費	用 材	製材用材	24,321	34.0	27,383	34.6	△ 3,062	△ 11.2
		パルプ・チップ用材	24,900	34.9	30,433	38.4	△ 5,533	△ 18.2
		合板用材	8,741	12.2	10,280	13.0	△ 1,539	△ 15.0
		その他用材	426	0.6	462	0.6	△ 36	△ 7.8
		小計	58,387	81.7	68,558	86.6	△ 10,171	△ 14.8
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,800	17.9	10,382	13.1	2,418	23.3	
計			<b>71,430</b>	<b>100.0</b>	<b>79,190</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 7,760</b>	<b>△ 9.8</b>
輸 出	用 材	丸太	1,384	46.0	1,130	41.6	254	22.5
		製材品等	275	9.2	236	8.7	39	16.5
		木材パルプ・チップ等	1,164	38.7	1,146	42.2	18	1.6
		合板等	179	5.9	194	7.2	△ 15	△ 7.7
		その他	3	0.1	4	0.2	△ 1	△ 25.0
	小計	3,005	99.8	2,711	99.8	294	10.8	
	燃料材	5	0.2	4	0.2	1	25.0	
計			<b>3,009</b>	<b>100.0</b>	<b>2,715</b>	<b>100.0</b>	<b>294</b>	<b>10.8</b>

資料：林野庁「木材需給表」

注：1) 燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2) 輸出の用材の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

3) 輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 2020年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」（輸出は「製材品等」）に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」（輸出は「木材パルプ・チップ等」）に計上することとした。なお、比較のため2019年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他用材」（輸出は「その他」に計上））。

## 木材需給情報-1 木材供給の動向（2020年木材需給表）

- 木材の総供給量は、74,439千m<sup>3</sup>で前年に比べ7,466千m<sup>3</sup>（9.1%）減少。用材は61,392千m<sup>3</sup>となり、前年に比べ9,877千m<sup>3</sup>（13.9%）減少。しいたけ原木も242千m<sup>3</sup>で前年に比べ9千m<sup>3</sup>（3.6%）減少。燃料材は12,805千m<sup>3</sup>となり、前年に比べ2,419千m<sup>3</sup>（23.3%）増加。
- 国内生産量は、31,149千m<sup>3</sup>で前年に比べ161千m<sup>3</sup>（0.5%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の1,995千m<sup>3</sup>（28.8%）であり、その他は減少。
- 輸入量は、43,290千m<sup>3</sup>で前年に比べ7,627千m<sup>3</sup>（15.0%）減少。この中で、前年に比べ増加量が最も大きかったものは燃料材の424千m<sup>3</sup>（12.3%）。

### 木 材 供 給 の 動 向

区 分			2020年		2019年		対前年 増減量 (千m <sup>3</sup> )	対前年 増減率 (%)	
			数量 (千m <sup>3</sup> )	構成比 (%)	数量 (千m <sup>3</sup> )	構成比 (%)			
総供給量	用材	丸太	25,180	33.8	27,804	33.9	△ 2,624	△ 9.4	
		林地残材	106	0.1	119	0.1	△ 13	△ 10.9	
		輸入木材製品	36,106	48.5	43,346	52.9	△ 7,240	△ 16.7	
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9	
		しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
		燃料材	12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3	
		計	74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1	
国内生産	用材	丸太	21,874	70.2	23,686	76.4	△ 1,812	△ 7.7	
		林地残材	106	0.3	119	0.4	△ 13	△ 10.9	
		小計	21,980	70.6	23,805	76.8	△ 1,825	△ 7.7	
	しいたけ原木	242	0.8	251	0.8	△ 9	△ 3.6		
	燃料材	8,927	28.7	6,932	22.4	1,995	28.8		
計	31,149	100.0	30,988	100.0	161	0.5			
輸入	用材	木材製品	丸太	3,306	7.6	4,118	8.1	△ 812	△ 19.7
			製材品等	10,121	23.4	11,345	22.3	△ 1,224	△ 10.8
			木材パルプ	4,997	11.5	5,580	11.0	△ 583	△ 10.4
			木材チップ等	16,646	38.5	21,347	41.9	△ 4,701	△ 22.0
			合板等	4,293	9.9	5,026	9.9	△ 733	△ 14.6
			その他	49	0.1	47	0.1	2	4.3
		細計	36,106	83.4	43,346	85.1	△ 7,240	△ 16.7	
	小計	39,412	91.0	47,464	93.2	△ 8,052	△ 17.0		
燃料材	3,878	9.0	3,454	6.8	424	12.3			
計	43,290	100.0	50,917	100.0	△ 7,627	△ 15.0			

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこず・木くずである。

4）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 2020年から、輸入の「木材製品」について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材品等」に、再生木材の数量は「木材チップ等」に計上することとした。なお、比較のため2019年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他」に計上）。



# 木材需給情報-1 木材自給率の動向（2020年木材需給表）

- 用材の自給率は、35.8%で前年に比べて2.4ポイント上昇し、2011年から10年連続の上昇。
- 用材にしいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、41.8%で前年に比べて4.0ポイント上昇し、2011年から10年連続の上昇。1972年の42.7%以来、48年ぶりに40%台に回復。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量÷総需要量（※）×100  
 ※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

## 木材自給率の動向

区 分		2020年	2019年	対前年 増減量 (千m <sup>3</sup> )	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千m <sup>3</sup> )	数量 (千m <sup>3</sup> )			
建築用材等	国内生産	15,810	17,620	△ 1,810	△ 10.3	
	輸 入	17,706	20,473	△ 2,767	△ 13.5	
	総 需 要 量	33,516	38,093	△ 4,577	△ 12.0	
	自 給 率	47.2%	46.3%	0.9ポイント		
用材	製材用材	国内生産	11,615	12,875	△ 1,260	△ 9.8
		輸 入	12,982	14,744	△ 1,762	△ 12.0
		総 需 要 量	24,597	27,619	△ 3,022	△ 10.9
		自 給 率	47.2%	46.6%	0.6ポイント	
	合板用材	国内生産	4,195	4,745	△ 550	△ 11.6
		輸 入	4,724	5,729	△ 1,005	△ 17.5
		総 需 要 量	8,919	10,474	△ 1,555	△ 14.8
		自 給 率	47.0%	45.3%	1.7ポイント	
非建築用材等	国内生産	15,339	13,368	1,971	14.7	
	輸 入	25,584	30,444	△ 4,860	△ 16.0	
	総 需 要 量	40,923	43,812	△ 2,889	△ 6.6	
	自 給 率	37.5%	30.5%	7.0ポイント		
用材	パルプ・チップ用材	国内生産	4,420	4,651	△ 231	△ 5.0
		輸 入	21,644	26,927	△ 5,283	△ 19.6
		総 需 要 量	26,064	31,579	△ 5,515	△ 17.5
		自 給 率	17.0%	14.7%	2.3ポイント	
	その他用材	国内生産	1,750	1,534	216	14.1
		輸 入	62	63	△ 1	△ 1.6
		総 需 要 量	1,812	1,597	215	13.5
		自 給 率	96.6%	96.0%	0.6ポイント	
しいたけ原木	国内生産	242	251	△ 9	△ 3.6	
	輸 入	-	-	-	-	
	総 需 要 量	242	251	△ 9	△ 3.6	
	自 給 率	100.0%	100.0%	0.0ポイント		
燃料材	国内生産	8,927	6,932	1,995	28.8	
	輸 入	3,878	3,454	424	12.3	
	総 需 要 量	12,805	10,386	2,419	23.3	
	自 給 率	69.7%	66.7%	3.0ポイント		
総 数	国内生産	31,149	30,988	161	0.5	
	輸 入	43,290	50,917	△ 7,627	△ 15.0	
	総 需 要 量	74,439	81,905	△ 7,466	△ 9.1	
	自 給 率	41.8%	37.8%	4.0ポイント		
うち 用材の計	国内生産	21,980	23,805	△ 1,825	△ 7.7	
	輸 入	39,412	47,464	△ 8,052	△ 17.0	
	総 需 要 量	61,392	71,269	△ 9,877	△ 13.9	
	自 給 率	35.8%	33.4%	2.4ポイント		

資料：林野庁「木材需給表」

注) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 2020年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」に計上することとした。なお、比較のため2019年の数値についても同様に再集計を行った（従来はいずれも「その他用材」に計上）。

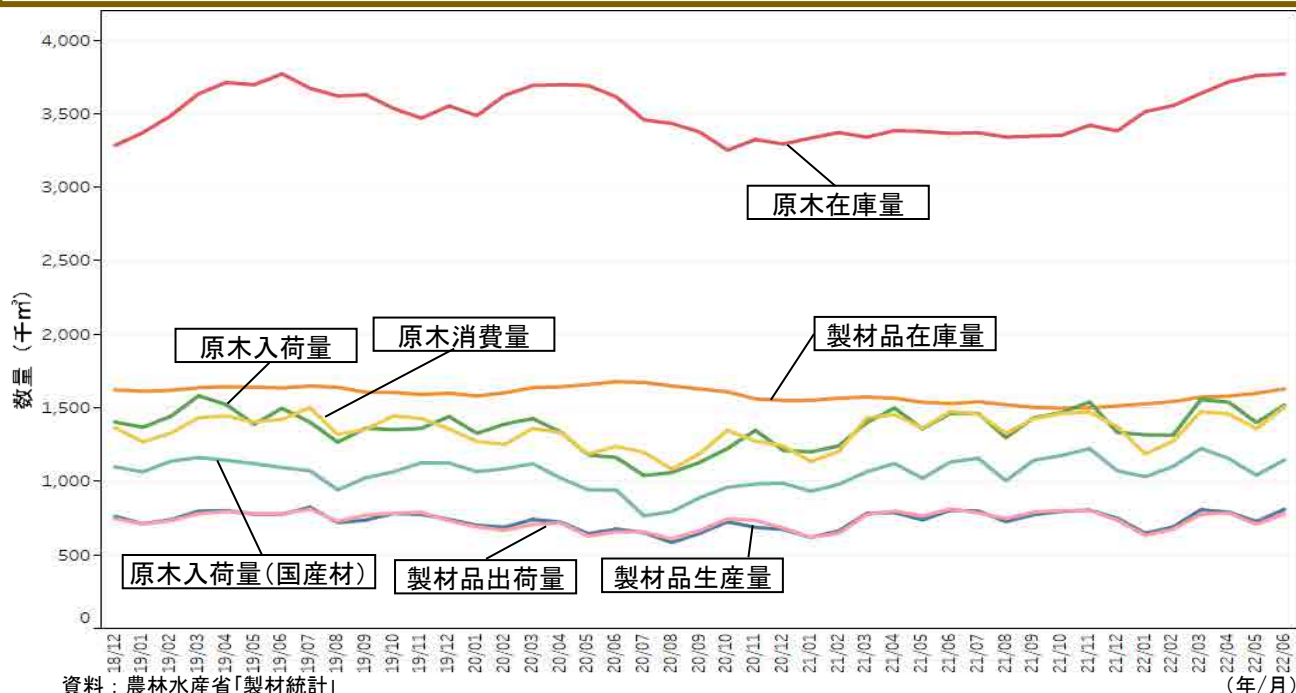
局	概況	主な地区の原木価格・出入荷量の動向							
		樹種	価格 (円/m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)			
北海道	・カラマツについては、合板向け原木需要が依然として旺盛なため、製材工場や梱包材工場の仕入れ環境は厳しく、慢性的な原木不足が続いている。 ・トドマツについては、カラマツの代用として使われていることもあり、特に建築材、産業資材の引き合いが強いが、住宅用製材の動きが鈍くなっている。 ・7月期の国有林材の素材委託販売におけるトドマツ及びカラマツの単価は高値を維持している。	原木価格	カラマツ(北海道) (14~28cm)	15,500	98%	122%	130%		
		出入荷量	区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)		
			素材入荷量(北海道)	132	94%	96%	117%		
			製品出荷量(北海道)	83	102%	119%	169%		
東北	・スギ原木は、製材工場や合板工場における在庫確保が順調に進んだことから需給が緩和してきている一方、虫害が出やすくなる時期であることから良材を確保する動きも一部で見られる。一般材は中目良材を中心に引き合いは継続しており、価格は保合で推移している。合板用原木の引き合いは弱まってきており、管内全域で原木価格の弱含み傾向が顕著になってきている。 ・カラマツは、依然として輸入材の代替として製材用、合板用とも不足感があり、引き合いが強い状況が続いている。原木価格は徐々に落ち着いてきてはいるものの、依然として高値での取引が続いている。 ・広葉樹は、出材後の材が傷みやすい時期になり、引き合い、価格ともに落ち着きが見られる。一部の外材の代替として需要がある材については引き合いが強く、特にナラ、クリ等は尺上材を中心に高値での取引が続いている。 ・低質材は、バイオマス向けの需要は安定しており、価格も横ばいで推移している。また、製紙用の需要が増加傾向にあるが、広葉樹低質材の出材量が少ない状況が続いており、在庫が少ない。 ・高品質材は、出材量が少なく、季節的な要因もあり需給は一服している。価格も高値で手当てされるものは少ない。	原木価格	スギ(秋田県) (14~22cm)	15,100	100%	127%	141%		
		出入荷量	区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)		
			素材入荷量(秋田県)	48	141%	141%	137%		
			製品出荷量(秋田県)	19	106%	83%	112%		
		関東	・スギ材、ヒノキ材は、素材生産が順調で製材工場の原木手当てが進んだこと、虫害が懸念される時期にあることから取引は鈍化し、スギ材の価格は横ばい、ヒノキ材は先月に比べて価格を下げている。 ・カラマツ材は先月に続き取引の一服感から価格は横ばいとなっている。	原木価格	スギ(栃木県) (14~22cm)	15,400	100%	100%	127%
				出入荷量	区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
素材入荷量(栃木県)	46				110%	102%	112%		
	製品出荷量(栃木県)			25	104%	93%	119%		
中部	・原木価格は、ヒノキが昨年の秋をピークに下落傾向で推移。来月以降も大きな下落はないものと推察するが、原木のダブつきは明らかであり注視が必要。 ・スギ、カラマツは、合板用材等の需要もあり、高値保合での推移となっている。 ・製品価格はスギで高値を維持。ヒノキは若干値を下げているが、原木高値での製品のため下げ幅は今のところ小さい。	原木価格	スギ(岐阜県) (14~22cm)	18,300	100%	122%	138%		
		出入荷量	区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)		
			素材入荷量(岐阜県)	25	104%	109%	125%		
			製品出荷量(岐阜県)	16	123%	107%	145%		
近畿中国	・北陸・京滋ブロック(石川、福井、滋賀、京都、大阪) ・スギ丸太の価格は、前月より下落。 ・ヒノキ丸太の価格は、滋賀県で前月の水準を維持、その他の県で前月より下落。 ・紀伊ブロック(三重、奈良、和歌山) ・スギ、ヒノキ丸太ともに価格は前月より下落。 ・瀬戸内ブロック(兵庫、岡山、広島、山口) ・スギ、ヒノキ丸太の価格は、広島県でスギ丸太が前月の水準を維持、その他は前月より下落。 ・山陰ブロック(鳥取、島根) ・スギ、ヒノキ丸太ともに価格は前月より下落。 ・製品の市況動向については、スギ、ヒノキ製品ともに価格は前月より下落。	原木価格	スギ(岡山県) (14~22cm)	14,300	93%	100%	144%		
		出入荷量	区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)		
			素材入荷量(岡山県)	26	108%	93%	118%		
			製品出荷量(岡山県)	14	117%	93%	108%		
四国	・スギは、大きな変動もなく3m材を中心に買い意欲旺盛で全体に好調を維持している。 ・ヒノキは、先行き製品需要に不透明感があることから全体的に弱含みで推移し、原木の荷動きも非常に悪い状況が続いている。	原木価格	スギ(愛媛県) (14~22cm)	20,800	91%	105%	178%		
		出入荷量	区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)		
			素材入荷量(高知県)	50	227%	132%	192%		
			製品出荷量(高知県)	20	118%	105%	133%		
九州	・7月の原木出材量は地域差もあるが全体的に少ない傾向。原木市場の価格は、スギは若干弱含み、ヒノキは土台取りを中心に前月から2~3千円安くなるなど下落が顕著。 ・製材品は荷動きが少なく、価格は全体的に弱含み。中国向けの原木輸出は、港頭在庫は減少しているものの低調な状況が継続。関係業者からは、フレートの下げ傾向や円安の効果もあり一定量の輸出はできているが、継続して輸出している業者と見合わせている業者に二極化しているとの情報。燃料用チップについては、依然として不足しており引き合いが強い。	原木価格	スギ(※1)	18,117	99%	87%	150%		
		出入荷量	区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)		
			素材入荷量(※2)	353	115%	99%	117%		
			製品出荷量(※2)	183	112%	101%	120%		

資料：農林水産省「木材価格」「製材統計」

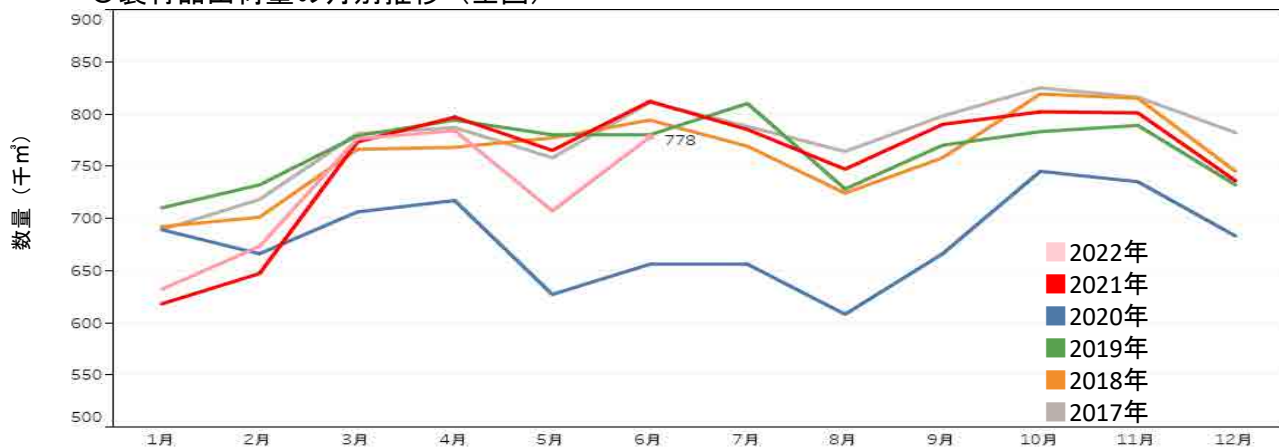
※1 九州地区のスギ及びヒノキの原木価格は、九州管内6市場の3m16~18cm直材及び4m18~22cm直材の平均単価。

※2 九州地区の素材入荷量及び製品出荷量は、福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の合計。

- 2022年1～6月の原木の入荷量は8,639千m<sup>3</sup>（2019年比98%）。
- 同様に製材品の出荷量は4,350千m<sup>3</sup>（2019年比95%）。



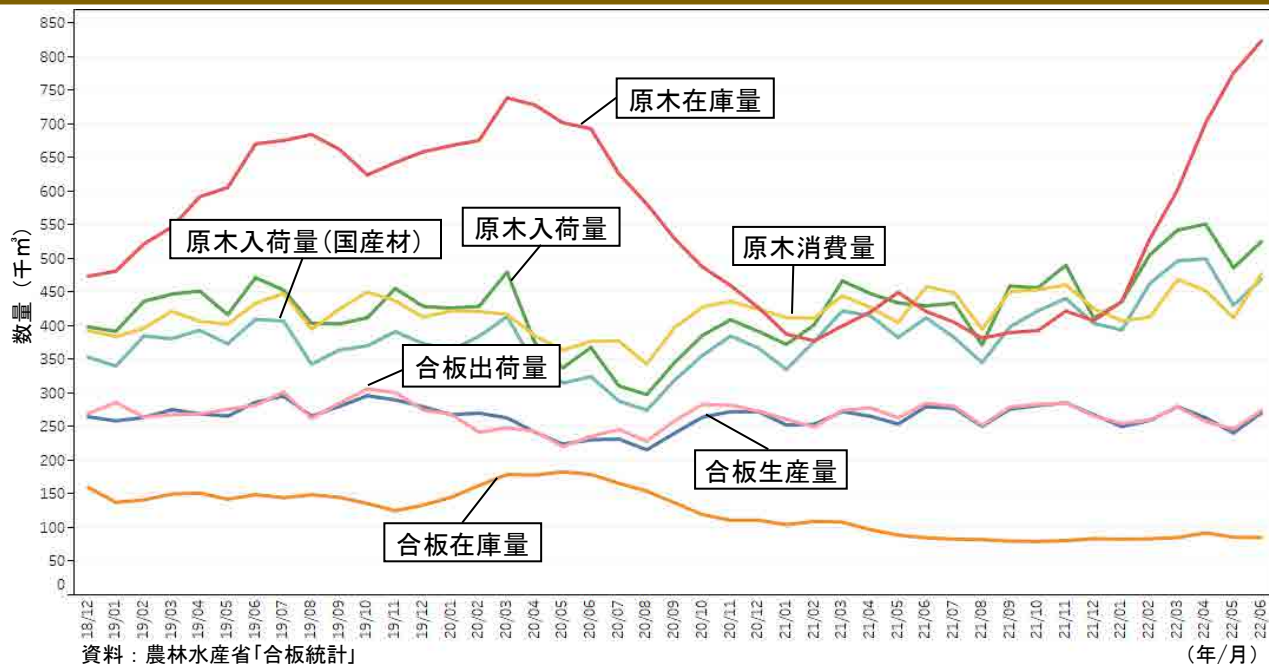
○製材品出荷量の月別推移（全国）



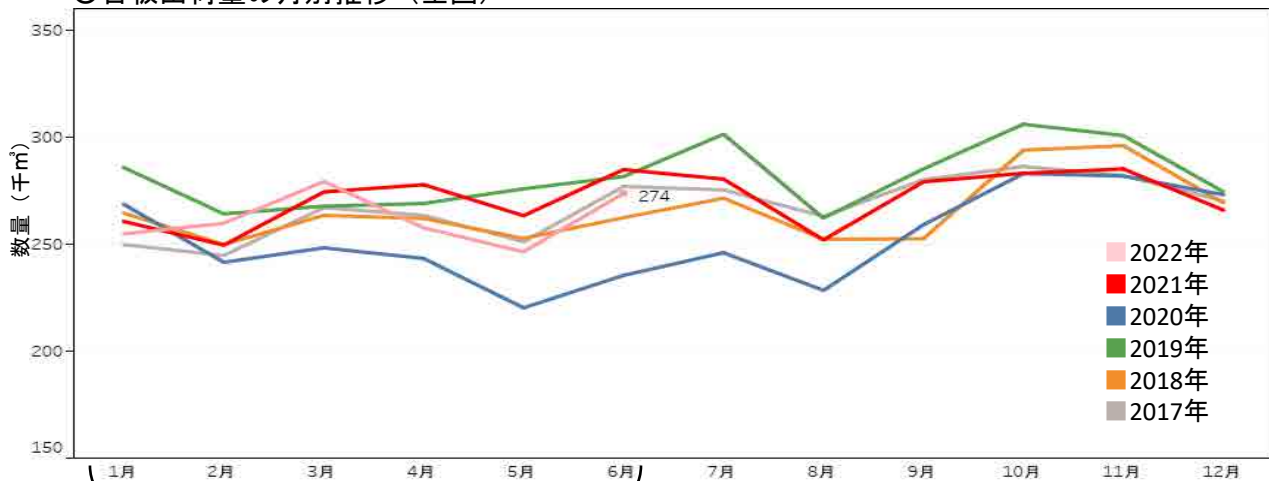
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～6月原木入荷量合計(千m <sup>3</sup> )	8,423	8,455	8,794	7,818	8,155	<b>8,639</b>
2019年との比較*	96%	96%	—	89%	93%	<b>98%</b>
1～6月出荷量合計(千m <sup>3</sup> )	4,544	4,498	4,575	4,061	4,412	<b>4,350</b>
2019年との比較*	99%	98%	—	89%	96%	<b>95%</b>

※2019年の数値を100%とした比較

- 2022年1～6月の原木の入荷量は3,045千m<sup>3</sup>（2019年比116%）。現在の原木在庫量は高い水準になっている。
- 同様に合板の出荷量は1,571千m<sup>3</sup>（2019年比96%）。合板在庫量は2020年5月から減少傾向に転じ、現在は低い水準で推移。



○合板出荷量の月別推移（全国）

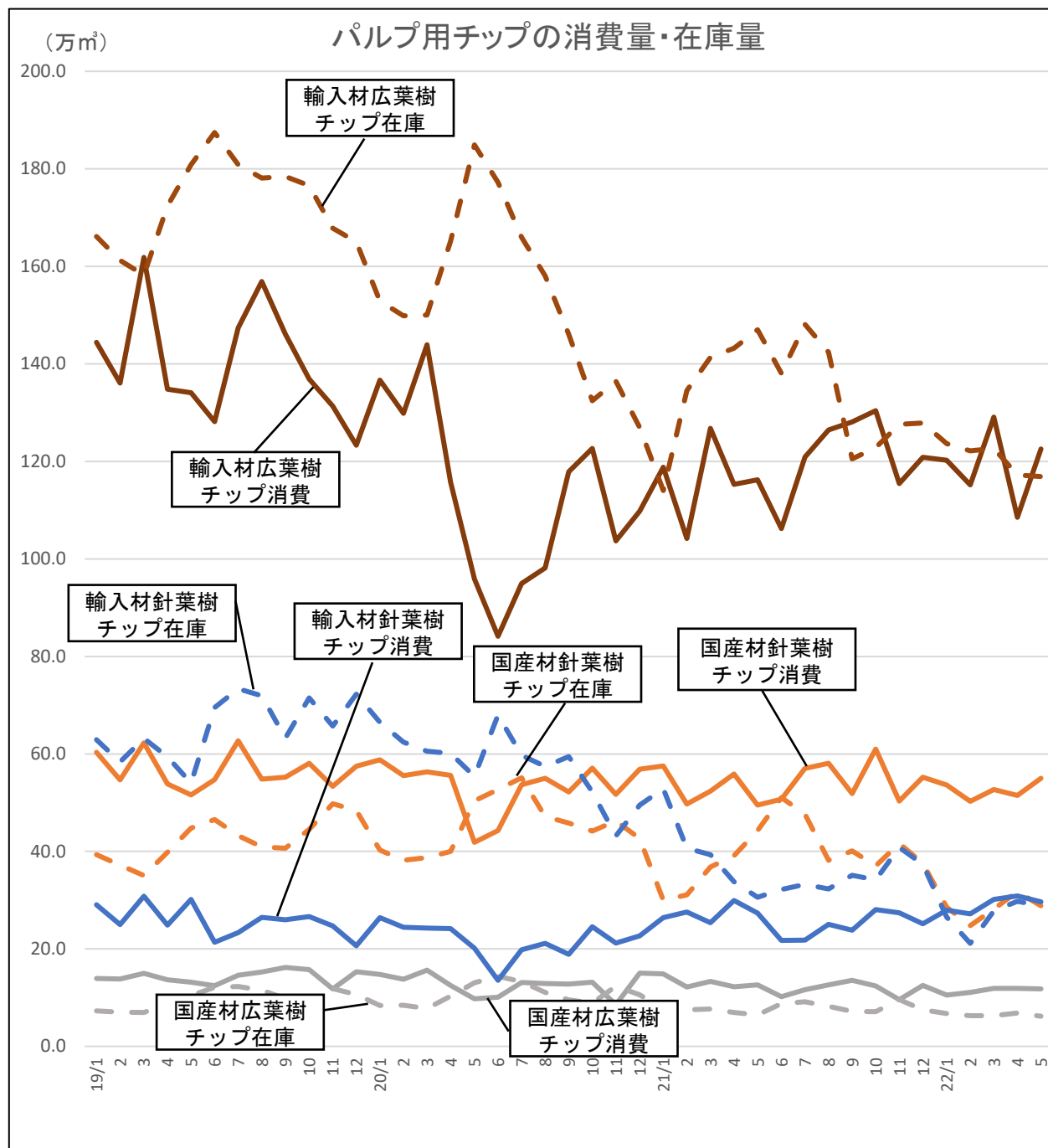


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～6月原木入荷量 合計(千m <sup>3</sup> )	2,266	2,505	2,614	2,414	2,552	<b>3,045</b>
2019年との比較*	87%	96%	—	92%	98%	<b>116%</b>
1～6月出荷量 合計(千m <sup>3</sup> )	1,553	1,555	1,644	1,457	1,610	<b>1,571</b>
2019年との比較*	94%	95%	—	89%	98%	<b>96%</b>

※2019年の数値を100%とした比較

## 木材需給情報-5 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向

- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。



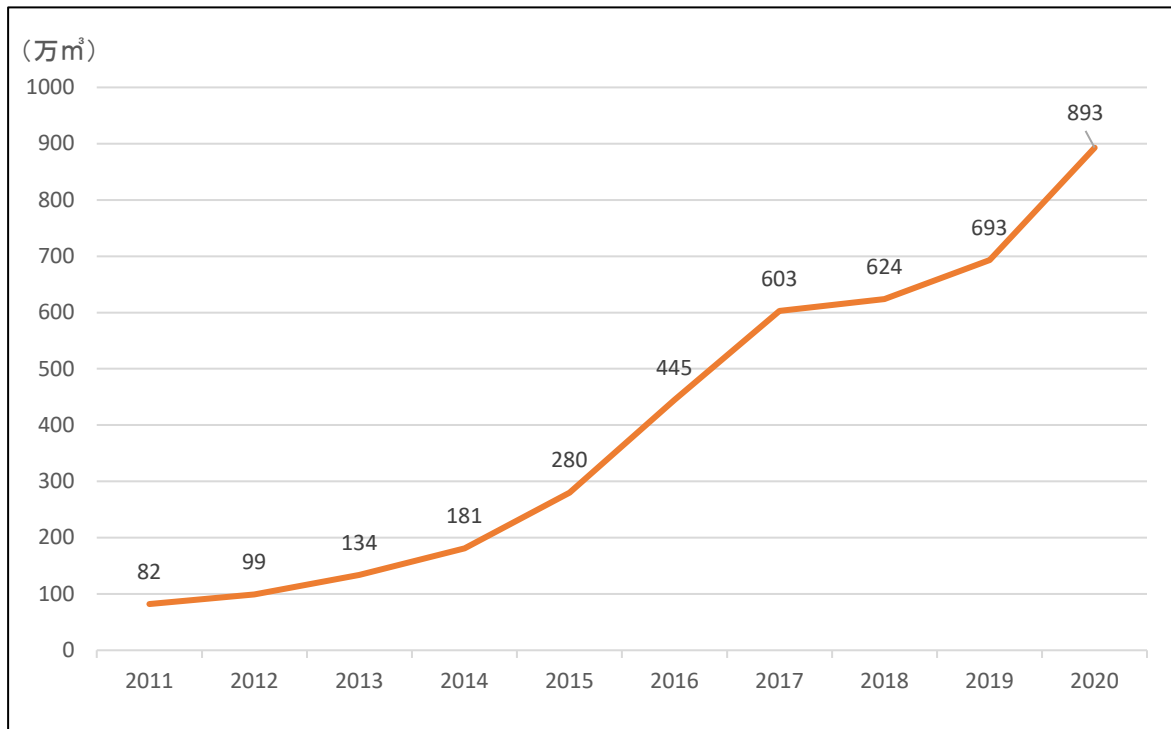
資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」



## 木材需給情報-6 木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高

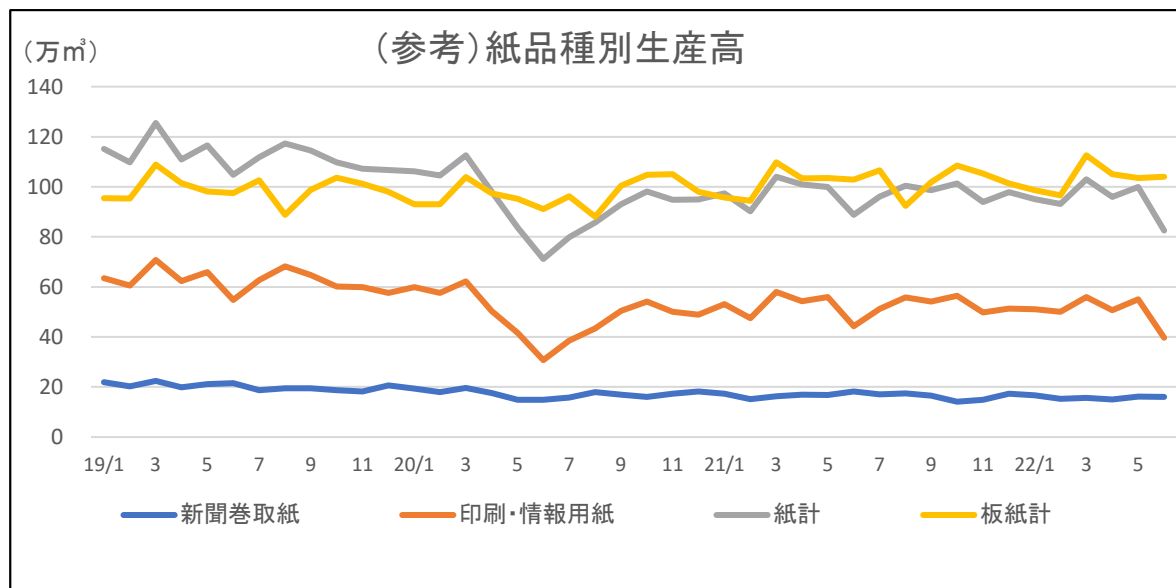
- 木質バイオマス燃料利用量は、主として発電向けで増加傾向が続いている。
- 紙の生産高は2020年6月に減少したが、その後一定程度回復している。

○木質バイオマス燃料利用量（国産未利用材）



資料：木材利用課調べ（～平成26年）、林野庁「木材需給表」（平成27年～）

○紙品種別生産高



資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

## 木材需給情報-7 素材生産量（2021年）

- 2021年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は2,185万m<sup>3</sup>。

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	21,847	12,861	4,661	4,325	20,088	12,917	1,759
北 海 道	3,163	1,630	652	881	2,615	63	548
青 森	971	360	397	214	924	812	47
岩 手	1,431	525	547	359	1,228	770	203
宮 城	627	218	292	117	588	538	39
秋 田	1,183	486	554	143	1,109	1,095	74
山 形	305	223	75	7	302	291	3
福 島	890	444	64	382	756	568	134
茨 城	401	320	4	77	374	254	27
栃 木	658	463	5	190	571	396	87
群 馬	252	162	31	59	240	179	12
埼 玉	67	31	x	x	43	25	24
千 葉	50	16	4	30	35	28	15
東 京	64	17	8	39	58	37	6
神 奈 川	10	8	x	x	9	6	1
新 潟	119	81	23	15	112	111	7
富 山	112	57	21	34	96	90	16
石 川	108	52	37	19	98	85	10
福 井	122	57	30	35	120	114	2
山 梨	125	27	x	x	104	27	21
長 野	460	188	207	65	453	106	7
岐 阜	385	256	80	49	381	211	4
静 岡	608	199	99	310	608	248	0
愛 知	139	96	28	15	127	76	12
三 重	277	189	81	7	276	122	1
滋 賀	72	15	14	43	57	40	15
京 都	159	51	41	67	140	98	19
大 阪	x	7	-	x	10	6	x
兵 庫	301	98	143	60	287	189	14
奈 良	125	107	x	x	125	67	0
和 歌 山	206	138	24	44	201	129	5
鳥 取	232	83	101	48	211	163	21
鳥 根	346	120	124	102	289	204	57
岡 山	427	348	23	56	389	100	38
広 島	347	152	81	114	267	136	80
山 口	221	123	46	52	198	135	23
徳 島	333	175	x	x	321	263	12
香 川	13	5	-	8	8	1	5
愛 媛	563	528	3	32	563	342	-
高 知	519	x	x	94	516	254	3
福 岡	402	343	7	52	395	353	7
佐 賀	130	109	1	20	119	66	11
長 崎	139	77	12	50	120	59	19
熊 本	938	752	123	63	907	686	31
大 分	1,129	892	210	27	1,116	929	13
宮 崎	2,042	1,830	164	48	2,026	1,931	16
鹿 児 島	664	417	132	115	596	514	68
沖 縄	x	x	-	x	0	-	x

資料：農林水産省「令和3年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

- 2020年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は1,944億円。

単位：1,000万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	2,793	2,318	30	-	-	2,260	475	-
青森	744	679	540	0	43	60	65	-
岩手	1,307	1,035	551	0	155	329	259	-
宮城	438	406	375	4	21	4	30	2
秋田	1,002	905	871	-	2	28	95	-
山形	245	240	228	0	2	9	5	0
福島	688	606	478	71	26	28	80	-
茨城	392	368	252	114	1	0	24	-
栃木	587	551	363	185	1	1	30	2
群馬	172	168	115	19	1	31	4	-
埼玉	45	28	18	10	0	0	17	-
千葉	41	26	21	4	-	-	12	3
東京	19	16	7	9	-	0	2	-
神奈川	11	10	5	5	-	0	1	-
新潟	103	96	96	0	0	0	6	0
富山	71	67	64	1	1	1	4	-
石川	132	115	93	6	8	1	16	0
福井	102	97	94	1	1	0	5	0
山梨	104	86	21	9	15	34	13	-
長野	463	436	59	95	32	240	17	-
岐阜	456	444	250	179	3	11	11	-
静岡	307	304	135	165	1	2	2	-
愛知	208	207	99	90	0	15	2	-
三重	320	316	131	182	0	-	4	-
滋賀	44	36	26	10	0	0	7	1
京都	116	94	66	23	0	-	17	5
大阪	5	5	3	2	0	-	0	-
兵庫	204	193	124	65	1	0	11	0
奈良	147	147	72	74	0	-	0	0
和歌山	140	134	73	61	0	-	4	2
鳥取	226	211	167	39	4	0	16	-
島根	397	321	255	52	14	0	76	-
岡山	446	435	68	363	3	-	8	3
広島	274	232	115	106	11	0	41	-
山口	230	209	140	67	2	-	20	1
徳島	281	275	214	60	1	-	6	0
香川	8	7	2	5	0	-	-	1
愛媛	550	549	260	287	2	-	-	0
高知	500	496	243	250	3	-	3	1
福岡	187	177	128	48	1	-	9	1
佐賀	125	115	67	48	0	-	9	0
長崎	100	81	30	52	-	-	18	-
熊本	1,142	1,108	739	366	3	-	26	8
大分	1,038	1,020	833	186	0	-	7	5
宮崎	1,977	1,950	1,814	131	4	-	26	-
鹿児島	548	475	405	62	1	-	58	15
沖縄	2	0	-	-	-	-	2	-
合計	19,437	17,796	10,739	3,506	364	3,055	1,541	49

資料：農林水産省「令和2年林業産出額」

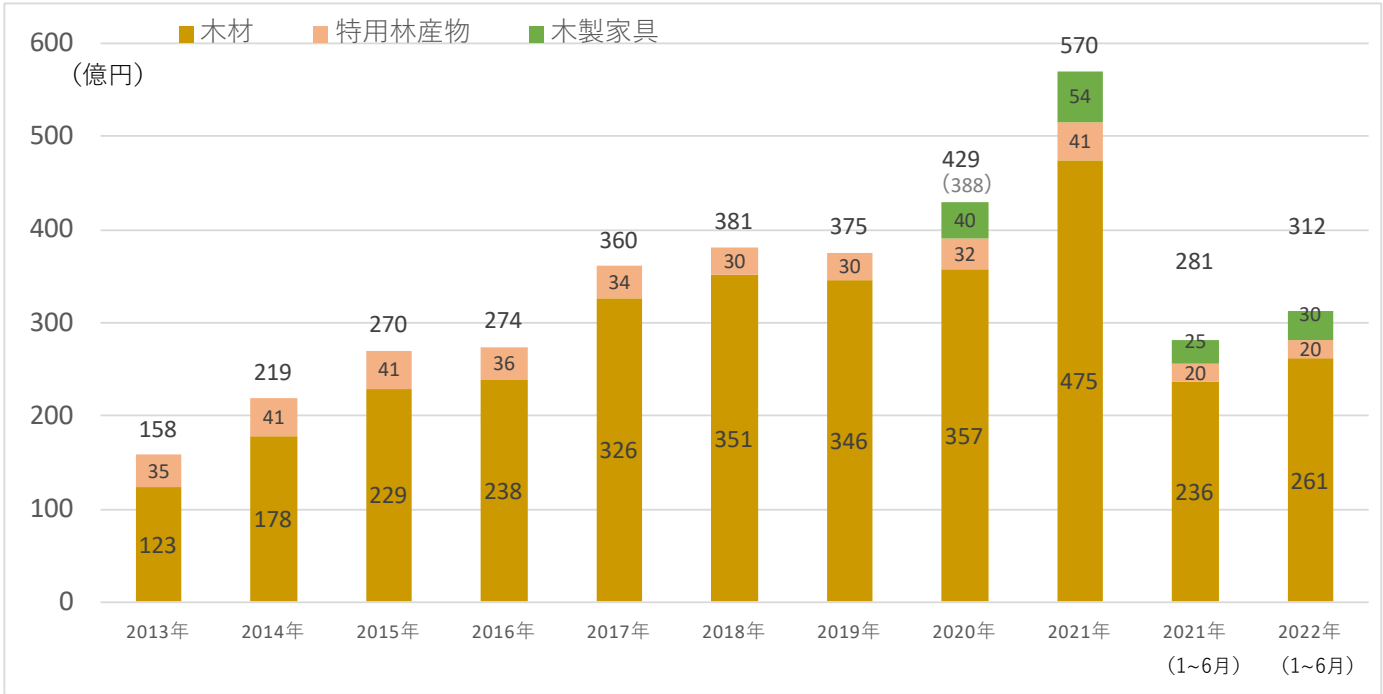
注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

# 林産物輸出入情報-1 林産物輸出額

- 2022年6月の林産物の輸出額は58億円（前年同月比107%）となった。
- 内訳としては木材が48億円（同104%）、特用林産物が4億円（同145%）、木製家具が6億円（同113%）となった。
- 2022年（1～6月）の累計は、312億円（対前年同期比111%）となった。

## ○林産物輸出の推移



資料：財務省貿易統計

※特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

## ○林産物の月別輸出額

(億円)

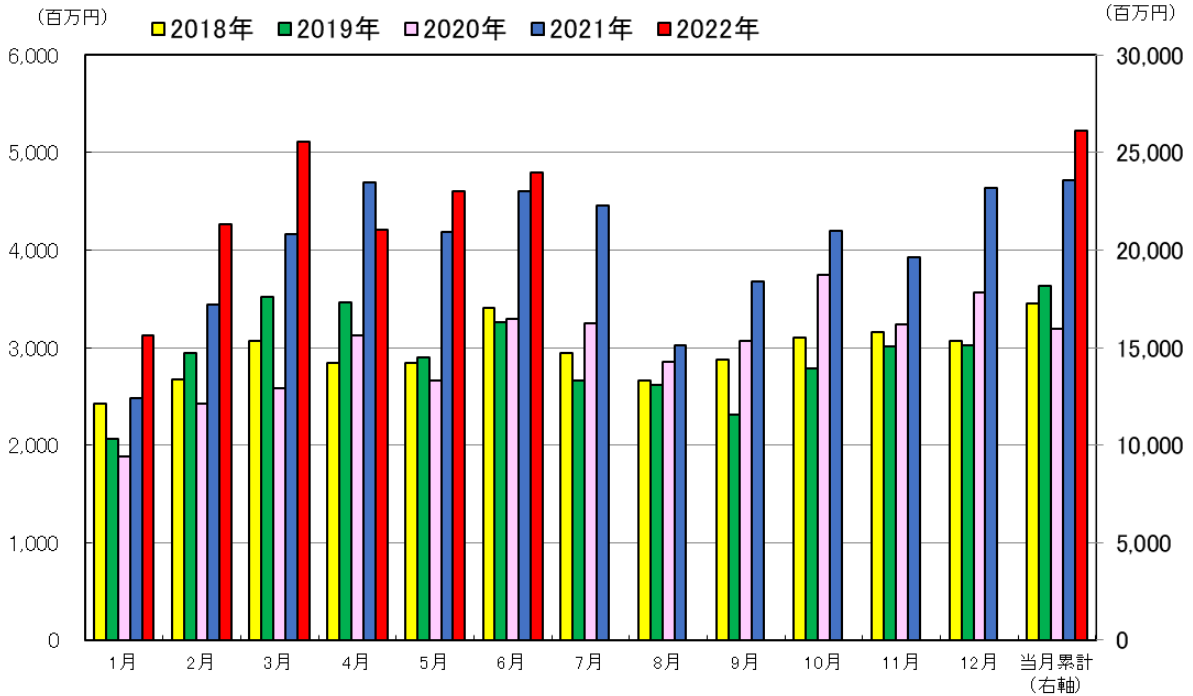
	2021年				2022年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	31	25	3	3	37	119%	157%	31	3	4
2月	41	34	4	3	50	121%	164%	43	3	4
3月	51	42	4	5	61	121%	192%	51	4	6
4月	55	47	3	5	51	92%	138%	42	3	5
5月	49	42	3	4	55	113%	176%	46	3	5
6月	54	46	3	5	58	107%	154%	48	4	6
7月	52	45	3	4						
8月	37	30	3	5						
9月	45	37	3	5						
10月	52	42	4	5						
11月	48	39	4	5						
12月	55	46	4	5						
6月累計	281	236	20	25	312	111%	163%	261	20	30

資料：財務省貿易統計

## 林産物輸出入情報-2 木材輸出額

- 2022年6月の輸出額は48.0億円（前年同月比104%）となった。2022年（1～6月）の累計は261億円（前年同月比111%）となった。
- 特に丸太輸出額については、中国向けが減少する一方で韓国・台湾向けが伸びている。また、米国向け製材が減少し、フィリピン向け製材・合板の輸出額が増加している。

○木材輸出額の推移（月別）



○木材輸出額の推移（主な国別・品目別）

輸出先	単月 6月					累計1～6月				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	2,125	96%	1,684 101%	141 92%	48 65%	10,498	90%	8,034 87%	797 101%	196 73%
韓国	312	94%	165 96%	43 72%	6 136%	1,973	107%	1,145 108%	309 92%	22 121%
台湾	259	127%	137 100%	65 194%	0 0%	1,495	119%	844 110%	327 110%	2 13%
米国	467	72%	0 —	241 48%	1 —	3,029	110%	0 —	1,825 90%	11 156%
フィリピン	1,256	136%	0 —	277 159%	952 137%	7,219	166%	0 —	1,956 211%	4,677 145%
その他	382	134%	54 96%	57 432%	2 36%	1,893	108%	149 55%	291 152%	24 49%
総計	4,800	104%	2,040 100%	824 89%	1,009 129%	26,106	111%	10,172 89%	5,505 120%	4,931 137%

※資料：財務省貿易統計（第44類を集計）  
※四捨五入により、数値が合わないことがある。



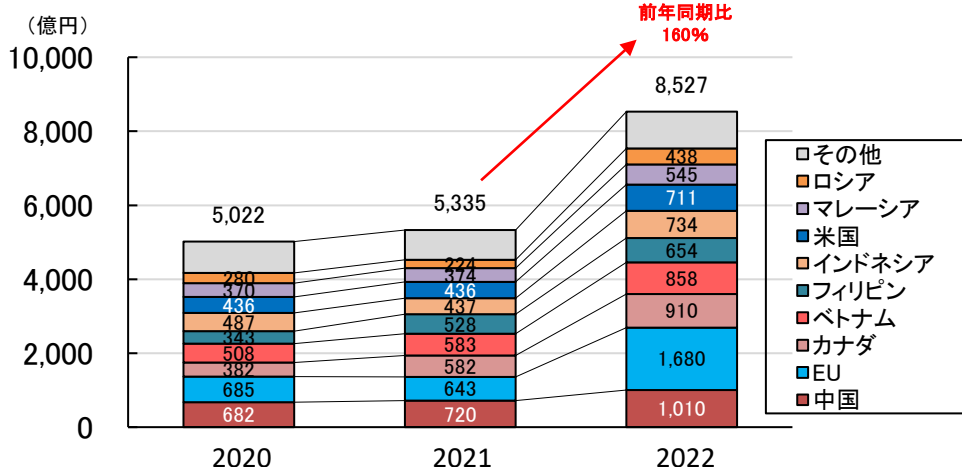
# 林産物輸出入情報-3 木材輸入額

- 2022年6月の木材輸入額は、前月比97%、前年同月比155%の1,547億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入額に占めるシェア12%）が88%、インドネシア（同8%）が85%、米国（同7%）が94%と減少する一方、EU（同14%）が103%、中国（同14%）が106%、ベトナム（同10%）が102%、フィリピン（同9%）が110%と増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが212%、中国が154%、カナダが130%、ベトナムが176%、フィリピンが119%、インドネシアが160%、米国が196%など軒並み増加した。

(億円)

年	2021年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2022年 5月	2022年 6月	前月比	前年 同月比	2021年 1～6月	2022年 1～6月	前年 同期比
世界計	12,291	1,599	1,547	97%	155%	5,335	8,527	160%
E U	1,712	263	272	103%	212%	643	1,680	261%
(フィンランド)	557	94	74	79%	182%	205	548	267%
(スウェーデン)	399	58	74	129%	333%	135	387	286%
中 国	1,663	203	214	106%	154%	720	1,010	140%
カナダ	1,514	198	175	88%	130%	582	910	156%
ベトナム	1,268	168	171	102%	176%	583	858	147%
フィリピン	1,123	105	116	110%	119%	528	654	124%
インドネシア	1,029	139	117	85%	160%	437	734	168%
米 国	914	164	154	94%	196%	436	711	163%
マレーシア	769	103	85	82%	141%	374	545	146%
ロシア	634	70	72	103%	164%	224	438	196%
その他	1,664	186	172	92%	117%	808	988	122%
我が国の総輸入額	845,898	96,426	100,131	104%	146%	388,818	538,676	139%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.45%	1.66%	1.54%			1.37%	1.58%	

○2020～2022年の1～6月における木材輸入額(累計)



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

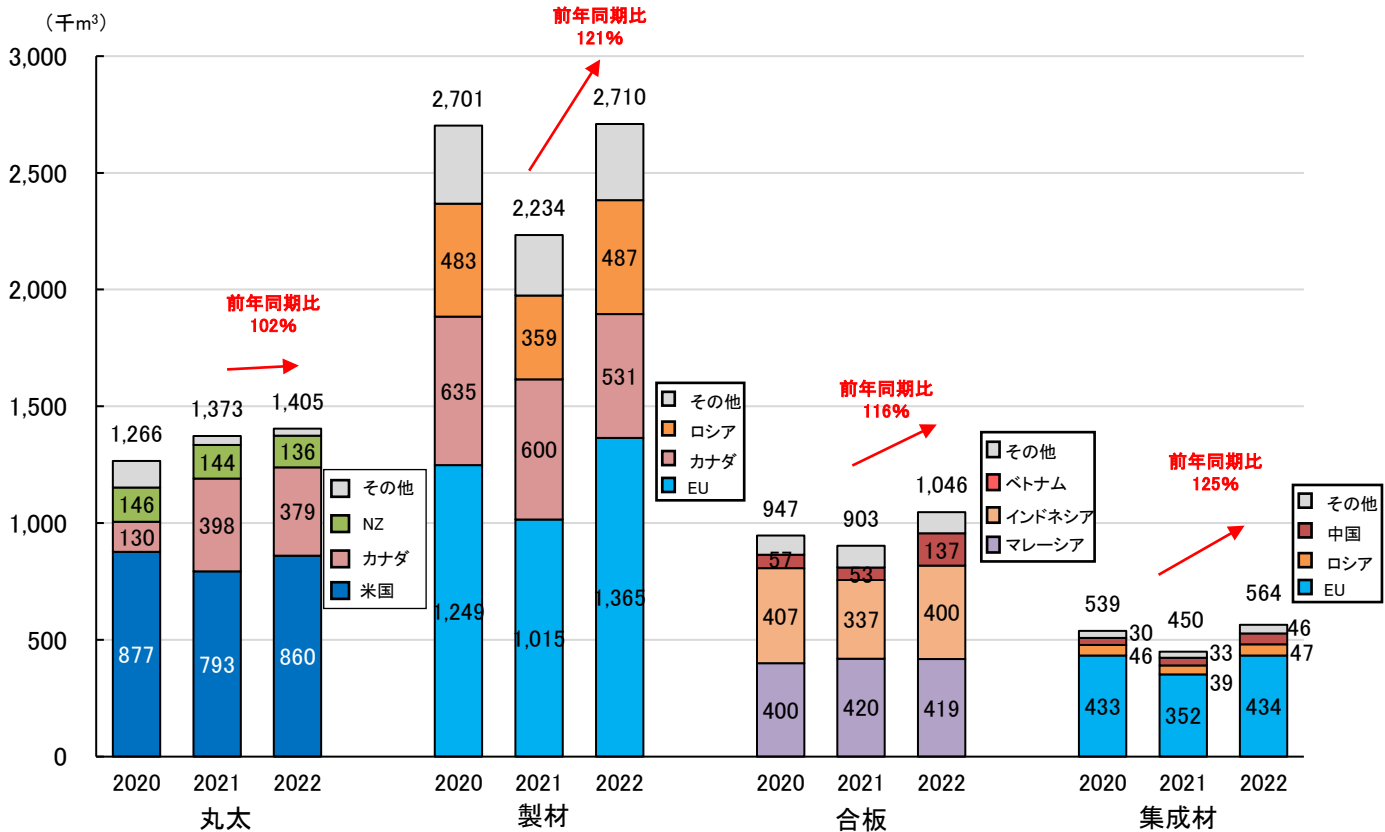
注2：EUに英国は含まない。

注3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

## 林産物輸出入情報-3 木材輸入量（累計）

- 2022年1～6月における品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比102%、製材が121%、合板が116%、集成材が125%と、軒並み増加。
- なお、2020年同期と比較すると、品目別輸入量は、丸太が111%、製材が100%、合板が110%、集成材が105%と、軒並み増加。

### ○2020～2022年の1～6月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

(注)2022年2月のエクアドルからの丸太(4403.99-990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

## 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2022年6月の丸太輸入量は、前月比98%、前年同月比110%の27万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア57%）が90%、カナダ（同28%）が98%と減少する一方、ニュージーランド（同12%）が253%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ニュージーランドが61%と減少する一方、米国が122%、カナダが117%と増加した。

(単位:千m<sup>3</sup>)

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 5月	2022年 6月	前月比	前年 同月比	2021年 1～6月	2022年 1～6月	前年 同期比
合計	[100%] 2,639	[100%] 279	[100%] 274			[100%] 1,373	[100%] 1,405	
米材	[86%] 2,257	[95%] 266	[89%] 244			[87%] 1,191	[88%] 1,239	
米国	[57%] 1,511	[69%] 192	[63%] 172			[58%] 793	[61%] 860	
カナダ	[28%] 746	[26%] 74	[26%] 72			[29%] 398	[27%] 379	
南洋材	[1%] 21	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 6	[1%] 7	
インドネシア	[0%] 0	-	[0%] 0			[0%] 0	[0%] 0	
マレーシア	[0%] 8	-	-			[0%] 0	[1%] 7	
パプアニューギニア	[0%] 13	-	-			[0%] 6	-	
ロシア材	[1%] 35	-	-			[1%] 20	[0%] 7	
ニュージーランド材	[12%] 306	[4%] 10	[10%] 26			[10%] 144	[10%] 136	
欧州材	[1%] 13	[1%] 3	[1%] 2			[1%] 10	[1%] 12	
EU計	[1%] 13	[1%] 3	[1%] 2			[1%] 10	[1%] 12	
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 1	
中国	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 1			[0%] 0	[0%] 1	
その他	[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 2	

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シंगाポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：2022年2月のエクアドルからの丸太（4403.99-990号）輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

## 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2022年6月の製材輸入量は、前月比96%、前年同月比104%の44万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア25%）が80%と減少する一方、ロシア（同18%）が117%、EU（同44%）が101%と増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが68%と減少する一方、ロシアが132%、EUが124%と増加した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 5月	2022年 6月	前月比	前年 同月比	2021年 1～6月	2022年 1～6月	前年 同期比
合計	[100%] 4,830	[100%] 463	[100%] 442			[100%] 2,234	[100%] 2,710	
米材	[28%] 1,361	[24%] 113	[21%] 94			[30%] 668	[22%] 597	
米国	[3%] 135	[2%] 11	[3%] 13			[3%] 67	[2%] 66	
カナダ	[25%] 1,226	[22%] 101	[18%] 82			[27%] 600	[20%] 531	
南洋材	[1%] 56	[1%] 5	[1%] 5			[1%] 28	[1%] 31	
インドネシア	[0%] 20	[0%] 2	[0%] 1			[0%] 9	[0%] 11	
マレーシア	[1%] 34	[1%] 3	[1%] 3			[1%] 18	[1%] 20	
パプアニューギニア	[0%] 0	-	[0%] 0			[0%] 0	[0%] 0	
ロシア材	[18%] 846	[16%] 76	[20%] 89			[16%] 359	[18%] 487	
ニュージーランド材	[1%] 57	[1%] 5	[1%] 5			[1%] 25	[1%] 25	
チリ材	[5%] 226	[8%] 36	[3%] 14			[4%] 89	[5%] 140	
欧州材	[46%] 2,210	[48%] 223	[51%] 228			[47%] 1,041	[52%] 1,396	
EU計	[44%] 2,148	[48%] 221	[51%] 225			[45%] 1,015	[50%] 1,365	
(スウェーデン)	[16%] 756	[16%] 74	[22%] 95			[16%] 351	[18%] 490	
(フィンランド)	[15%] 729	[16%] 73	[14%] 63			[15%] 344	[16%] 431	
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 1	
中国	[1%] 64	[1%] 4	[1%] 7			[1%] 19	[1%] 28	
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1			[0%] 4	[0%] 5	

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

注2：米材は米国、カナダより輸入された材。

注3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

注4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

注5：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

注7：「-」は輸入実績なし等。

注8：EUに英国は含まない。

## 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2022年6月の合板輸入量は、前月比94%、前年同月比118%の17万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、マレーシア（前年輸入量に占めるシェア43%）が91%、インドネシア（同38%）が77%と減少する一方、中国（同7%）が117%と増加した。
- 前年同月比で見ると、マレーシアが99%、インドネシアが93%と減少する一方、中国が362%と増加した。

年 国名	2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量			(単位:千m <sup>3</sup> )
		2022年 5月	2022年 6月	前月比	前年 同月比	2021年 1～6月	2022年 1～6月	前年 同期比	
総輸入量	[100%] 1,865	[100%] 182	[100%] 171			[100%] 903	[100%] 1,046		116%
マレーシア	[43%] 795	[37%] 68	[36%] 61	94%	118%	[46%] 420	[40%] 419		100%
インドネシア	[38%] 715	[37%] 68	[31%] 52	77%	93%	[37%] 337	[38%] 400		119%
ベトナム	[11%] 207	[7%] 13	[11%] 18	142%	118%	[10%] 86	[8%] 82		95%
中国	[7%] 133	[18%] 32	[22%] 37	117%	362%	[6%] 53	[13%] 137		258%
EU	[0%] 6	[0%] 1	[0%] 0	90%	62%	[0%] 4	[0%] 3		85%
その他	[0%] 9	[1%] 1	[1%] 1	119%	256%	[0%] 4	[1%] 6		140%

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

注2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

注4：EUに英国は含まない。

- 2022年6月の木材チップ輸入量は、前月比86%、前年同月比99%の91万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア38%）が94%、チリ（同10%）が36%と減少する一方、オーストラリア（同18%）が160%と増加した。
- 前年同月比で見ると、チリが42%と減少する一方、ベトナムが109%、オーストラリアが183%と増加した。

年 国名	2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量			(単位:千トン)
		2022年 5月	2022年 6月	前月比	前年 同月比	2021年 1～6月	2022年 1～6月	前年 同期比	
総輸入量	[100%] 10,996	[100%] 1,055	[100%] 910			[100%] 5,564	[100%] 5,632		101%
ベトナム	[38%] 4,132	[35%] 371	[38%] 350	94%	109%	[36%] 2,019	[38%] 2,118		105%
オーストラリア	[18%] 1,947	[11%] 119	[21%] 190	160%	183%	[19%] 1,082	[18%] 1,023		95%
チリ	[10%] 1,060	[17%] 176	[7%] 63	36%	42%	[10%] 569	[10%] 542		95%
南アフリカ共和国	[9%] 1,026	[6%] 66	[11%] 97	146%	109%	[8%] 463	[9%] 502		108%
米国	[7%] 811	[10%] 102	[7%] 61	60%	102%	[7%] 417	[8%] 450		108%
その他	[18%] 2,020	[21%] 221	[16%] 149	67%	79%	[18%] 1,014	[18%] 996		98%

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

注2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

資料：財務省貿易統計

## 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2022年6月の集成材輸入量は、前月比97%、前年同月比100%の8.7万m<sup>3</sup>となった。構造用集成材に限ると、前月比97%、前年同月比97%の7.5万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国（前年輸入量に占めるシェア10%）が95%、ロシア（同9%）が62%と減少する一方、EU（同76%）が102%と増加した。EUの国別内訳では、フィンランド（同36%）が73%、オーストリア（同13%）が90%と減少する一方、ルーマニア（同15%）が196%と増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが93%と減少する一方、中国が116%、ロシアが115%増加した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

年 国名	2021年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 5月	2022年 6月	前月比	前年 同月比	2021年 1～6月	2022年 1～6月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 967	[100%] 90	[100%] 87	97%	100%	[100%] 450	[100%] 564	125%
うち 構造用集成材	[100%] 832	[100%] 77	[100%] 75	97%	97%	[100%] 395	[100%] 491	124%
EU	[76%] 733	[72%] 65	[75%] 66	102%	93%	[78%] 352	[77%] 434	123%
うち 構造用集成材	[85%] 709	[82%] 63	[85%] 64	101%	94%	[87%] 342	[86%] 423	124%
フィンランド	[36%] 349	[38%] 34	[28%] 25	73%	75%	[38%] 173	[34%] 194	112%
うち 構造用集成材	[41%] 345	[44%] 34	[33%] 25	73%	75%	[43%] 171	[39%] 193	112%
ルーマニア	[15%] 148	[10%] 9	[20%] 18	196%	116%	[14%] 64	[17%] 97	152%
うち 構造用集成材	[17%] 139	[11%] 9	[23%] 17	199%	119%	[15%] 61	[19%] 93	153%
オーストリア	[13%] 126	[12%] 10	[11%] 9	90%	84%	[14%] 61	[11%] 60	99%
うち 構造用集成材	[14%] 116	[12%] 10	[11%] 8	87%	85%	[14%] 56	[11%] 55	98%
中国	[10%] 93	[11%] 10	[11%] 9	95%	116%	[7%] 33	[8%] 46	142%
うち 構造用集成材	[6%] 52	[7%] 6	[7%] 6	100%	107%	[5%] 20	[6%] 28	143%
ロシア	[9%] 84	[11%] 10	[7%] 6	62%	115%	[9%] 39	[8%] 47	122%
うち 構造用集成材	[9%] 71	[11%] 8	[7%] 6	67%	125%	[8%] 33	[8%] 41	122%
その他	[6%] 57	[6%] 6	[7%] 6	112%	171%	[6%] 26	[6%] 36	141%
うち 構造用集成材	[0%] 0	-	-	-	-	[0%] 0	[0%] 0	84%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。



## 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2022年6月の木質ペレット輸入量は、前月比90%、前年同月比151%の36万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア53%）が92%、カナダ（同34%）が82%と減少した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが167%、カナダが137%と増加した。

（単位：千トン）

国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 5月	2022年 6月	前月比	前年 同月比	2021年 1～6月	2022年 1～6月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 3,117	[100%] 402	[100%] 362	90%	151%	[100%] 1,411	[100%] 1,997	142%
ベトナム	[53%] 1,647	[49%] 198	[50%] 181	92%	167%	[50%] 712	[55%] 1,098	154%
カナダ	[34%] 1,058	[41%] 164	[37%] 134	82%	137%	[36%] 513	[32%] 645	126%
マレーシア	[5%] 156	[5%] 21	[0%] 1	7%	6%	[6%] 80	[3%] 54	67%
その他	[8%] 256	[5%] 19	[12%] 44	240%	399%	[7%] 105	[10%] 200	191%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2022年6月のLVL輸入量は、前月比93%の4.7万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国が92%と減少した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 5月	2022年 6月	前月比	前年 同月比	2021年 1～6月	2022年 1～6月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 51	[100%] 47	93%		[100%] 258		
中国		[79%] 40	[78%] 37	92%		[76%] 196		
ベトナム		[18%] 9	[18%] 9	95%		[19%] 50		
インドネシア		[3%] 1	[4%] 2	128%		[4%] 10		
その他		[1%] 0	[0%] 0	66%		[1%] 2		

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

2：LVLは、HSコードの改定に伴い、2022年1月1日より集計可能となったため、2021年以前のデータは存在しない。

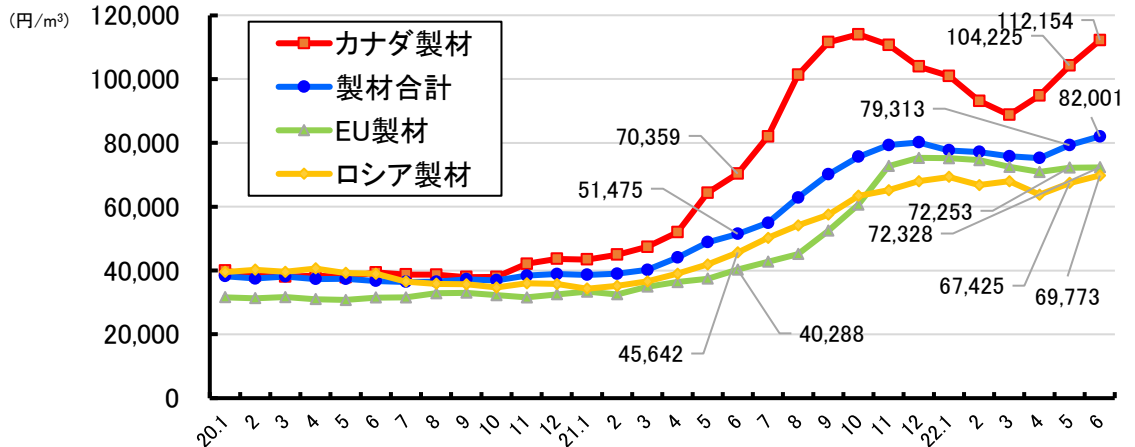
3：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

4：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

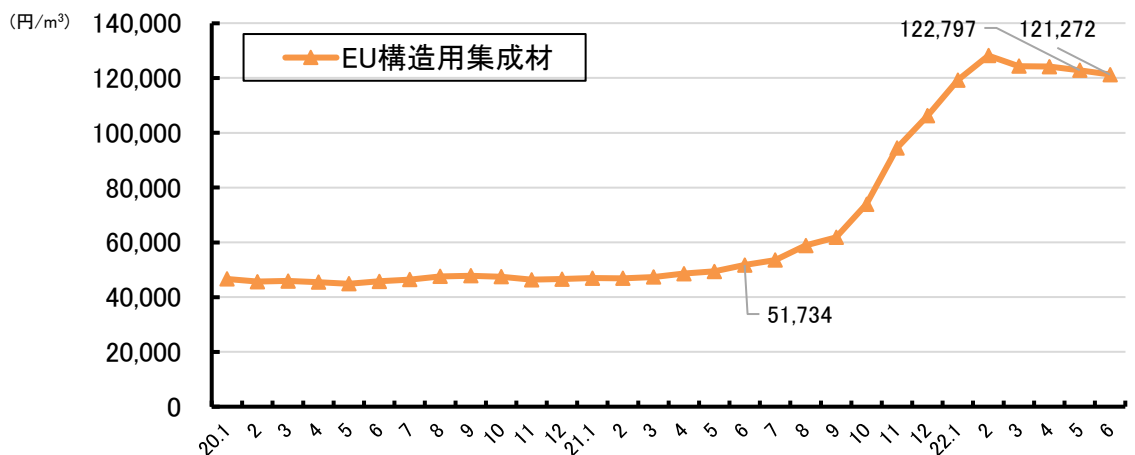
# 林産物輸出入情報-5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

- 2022年6月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比103%の82,001円/m<sup>3</sup>（前年同月比159%）。うち、カナダの製材は、前月比108%の112,154円/m<sup>3</sup>（前年同月比159%）、EUの製材は、前月比100%の72,328円/m<sup>3</sup>（前年同月比180%）、ロシアの製材は、前月比103%の69,773円/m<sup>3</sup>（前年同月比153%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比99%の121,272円/m<sup>3</sup>（前年同月比234%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比97%の97,014円/m<sup>3</sup>（前年同月比152%）。

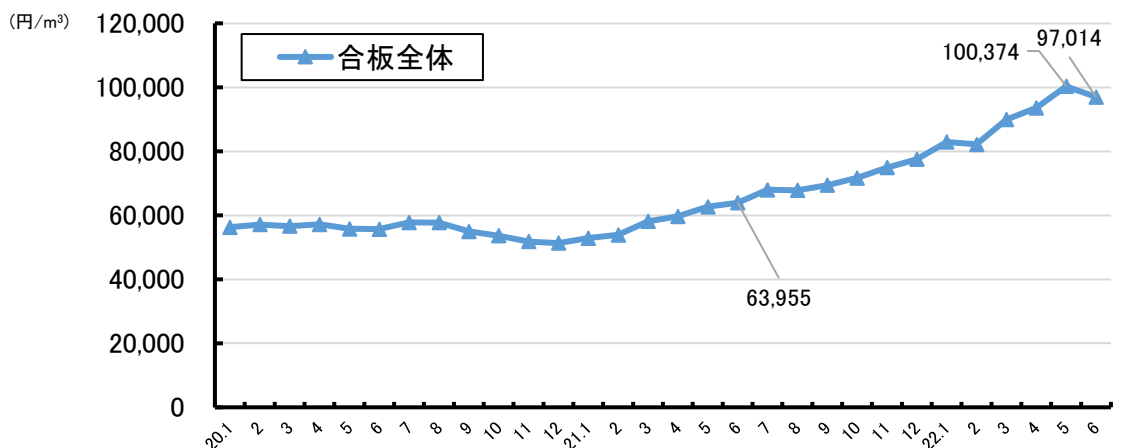
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

資料：財務省貿易統計

# 特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2021年の食用きのこ類の生産量は46万2,018t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は1万9,917t（対前年比75.3%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,795t（対前年比91.1%）となった。

## 〇きのこ類

単位:t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,571	2,216	15,513	71,057	5,076	65,981	24,063	129,587	4,463	119,545	54,522	38,344	3,031	39

注：まつたけの1972年までの生産量は、『農林省統計表』による。

## 〇その他食品

単位:t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3		19,917	

注：くりの2010年～2020年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

## 〇非食品

年次	品目	非食用																	
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかさき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液	
																			kg
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287	
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242	
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232	
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213	
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185	
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203	
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193	
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197	
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193	
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151	
2021	3					11,795	459	5,157											

注：1 木炭、薪の昭和47年までの生産量は『農林省統計表』による。  
 2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。  
 3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。  
 4 しきみ、さかさきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

資料：特用林産基礎資料（第一報）  
 斜線部分は令和4年8月末に公表予定。

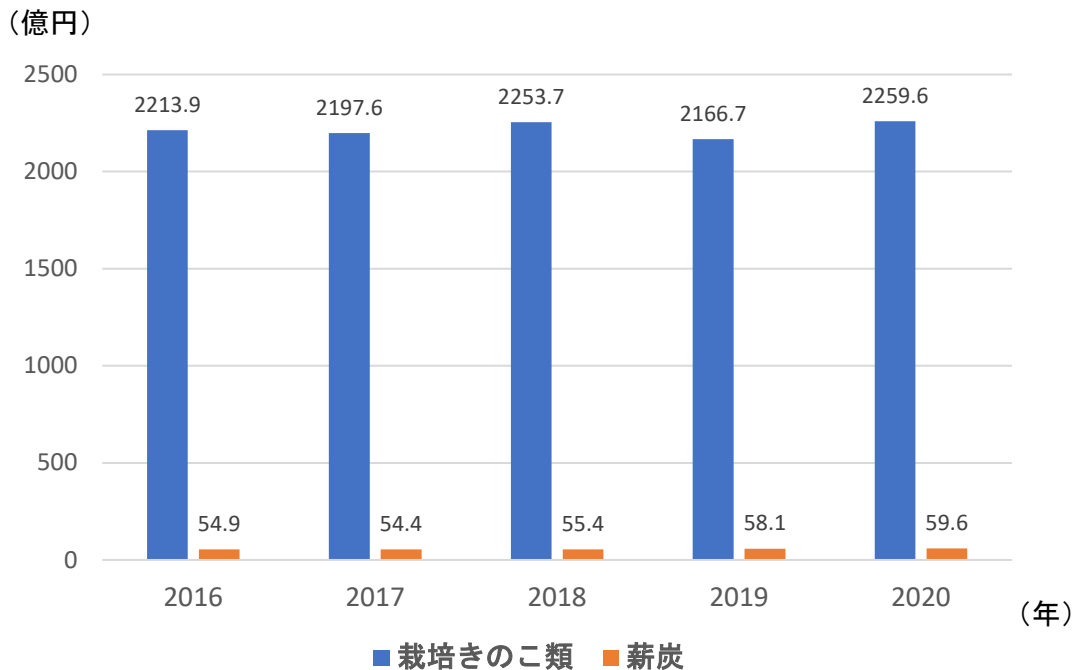
## 特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2020年のきのこ類の林業産出額は2,259.6億円（対前年比104.3%）となった。
- 薪炭の林業産出額は59.6億円（対前年比102.6%）となった。

（単位：億円）

	2016	2017	2018	2019	2020
栽培きのこ類	2,213.9	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6
薪炭	54.9	54.4	55.4	58.1	59.6

資料：農林水産省「令和2年林業産出額」



## 特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 2021年の乾しいたけの輸出量は41トン（対前年比124.2%）、輸入量は4,575トン（対前年比105.1%）。
- 2021年の木炭の輸出量は270トン（対前年比61.5%）、輸入量は84,224トン（対前年比105.6%）。

品目	単位	2017		2018		2019		2020		2021	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	26	5,050	24	4,998	33	4,869	33	4,354	41	4,575
生しいたけ	トン	…	2,108	…	1,942	…	1,835	…	1,785	…	1,988
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	28	24,735	46	26,696	89	25,320	14	23,190	66	22,058
まつたけ	トン	…	787	…	798	…	849	…	629	…	524
くり	トン	…	10,837	…	9,781	…	9,019	…	7,371	…	8,401
くるみ	トン	…	57,536	…	56,389	…	52,236	…	56,478	…	67,581
たけのこ	トン	…	172,499	…	167,868	…	157,296	…	142,544	…	149,780
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	14	…	3	19	7	10	4	9	5	11
生うるし	kg	…	40,925	…	35,879	…	36,254	…	30,165	…	21,910
つばき油	kl	…	154	…	177	…	180	…	220	…	224
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	…	244	1	251	0	215	0	194	0	191
桐材	m <sup>3</sup>	…	12,527	…	10,750	…	10,099	…	9,726	…	9,871
木炭	トン	521	141,662	442	144,462	460	143,953	439	79,739	270	84,224
竹炭	トン	0	8,061	0	8,744	0	9,414	12	7,605	2	6,790
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m <sup>3</sup>	753	351	833	476	788	1,830	468	2,326	490	7,099
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	56,135	…	53,679	…	54,183	…	44,499	…	37,584
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：財務省貿易統計

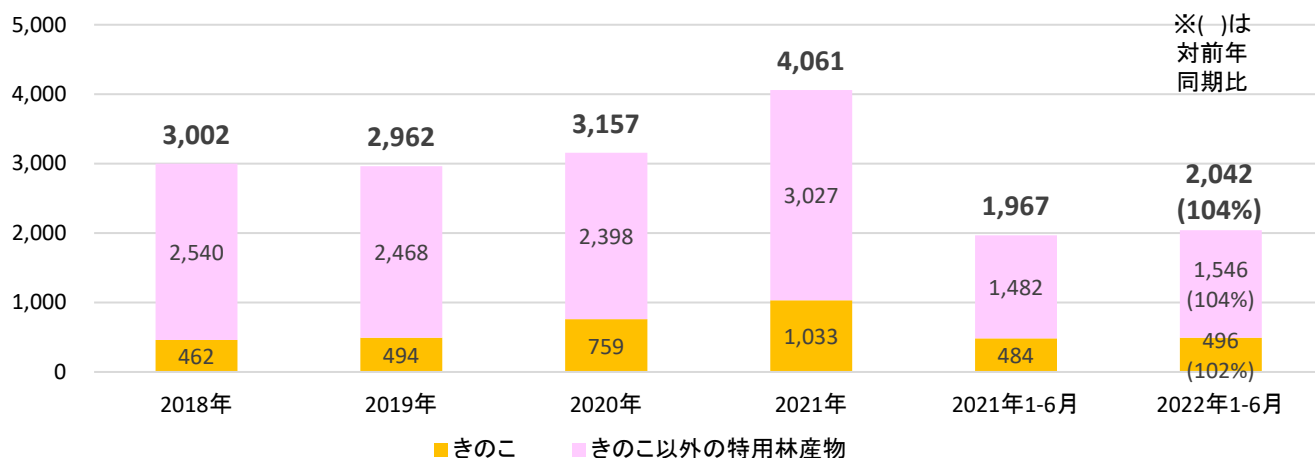
「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

## 特用林産情報-4 特用林産物の輸出額①

- 2022年（1～6月）の特用林産物輸出額は2,042百万円（前年同期比104%）となった。  
内訳は、きのこ（乾しいたけ含む）は496百万円（対前年同期比102%）、きのこ以外は1,546百万円（対前年同期比104%）となった。
- 6月の輸出額は399百万円（対前年同月比145%）となった。  
内訳は、きのこ（乾しいたけ含む）は76百万円（対前年同月比125%）、きのこ以外の特用林産物は323百万円（対前年同月比150%）となった。

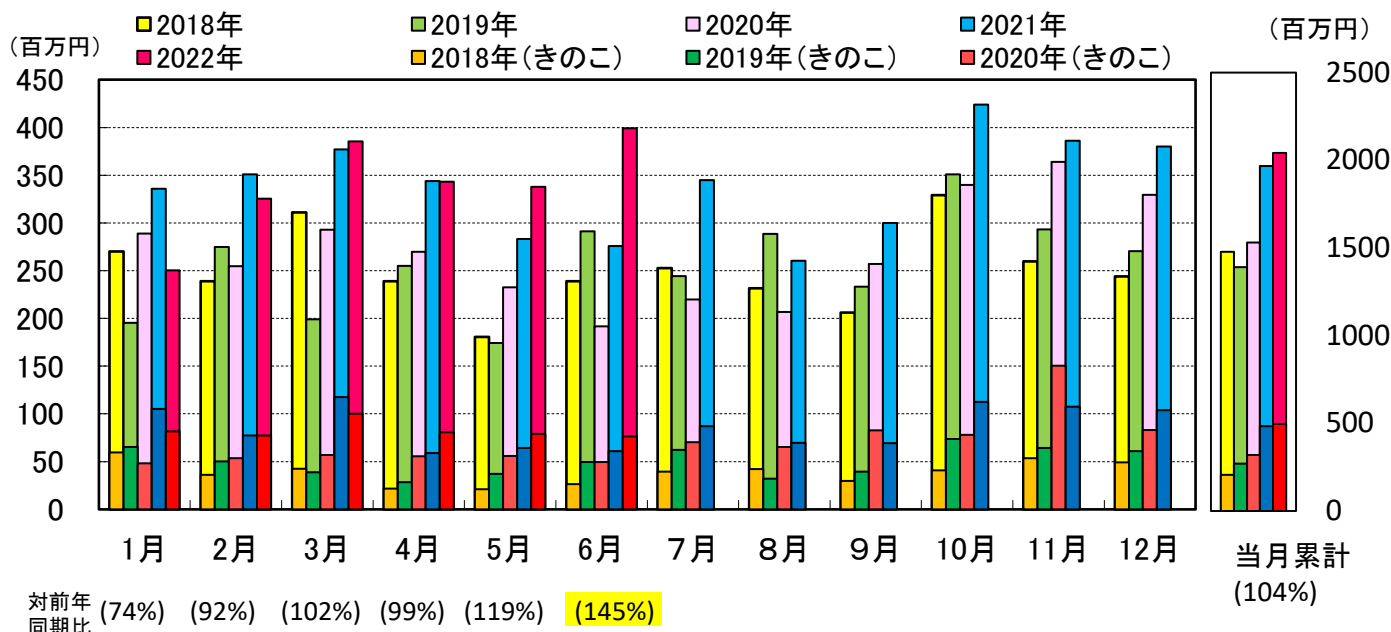
○特用林産物輸出額全体の推移（累計）

（百万円）



※( )は  
対前年  
同期比

○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

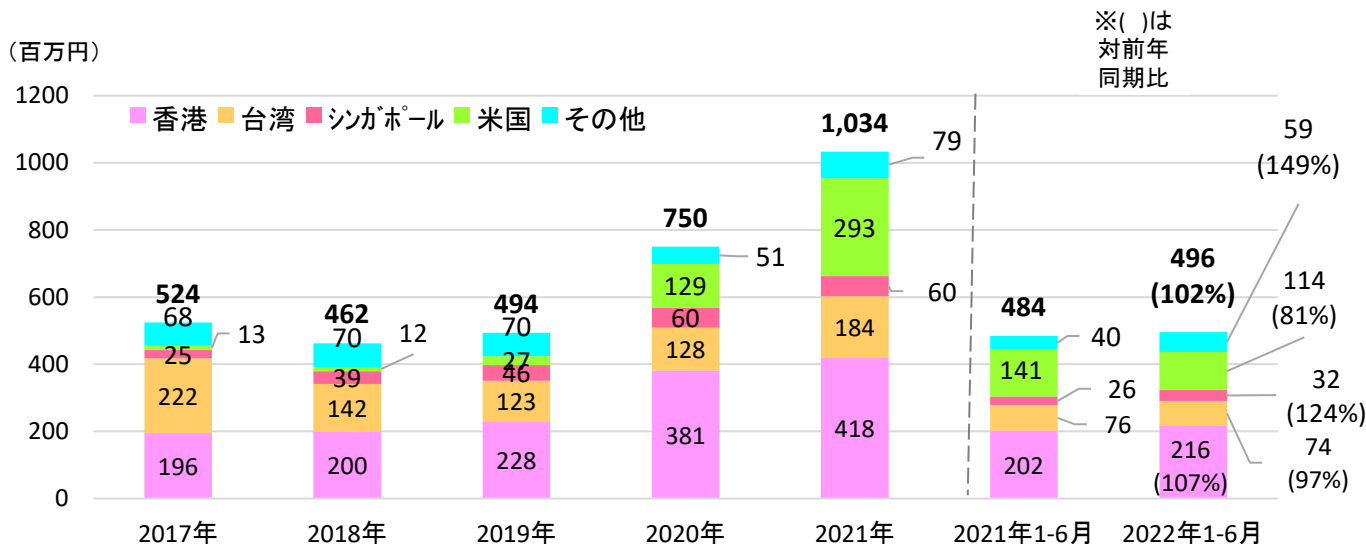
※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。



## 特用林産情報-4 特用林産物の輸出額②

- 2022年（1～6月）のきのこの輸出額は496百万円で、対前年同期比102%となっている。国別では、主要な輸出先である香港が対前年同期比107%、台湾が97%、シンガポールが124%、米国が81%となっている。
- 同年同期の輸出量は720トンで、対前年同期比119%となっている。輸出先別では、香港が対前年同期比115%、台湾が111%、シンガポールが97%、米国が121%となっている。

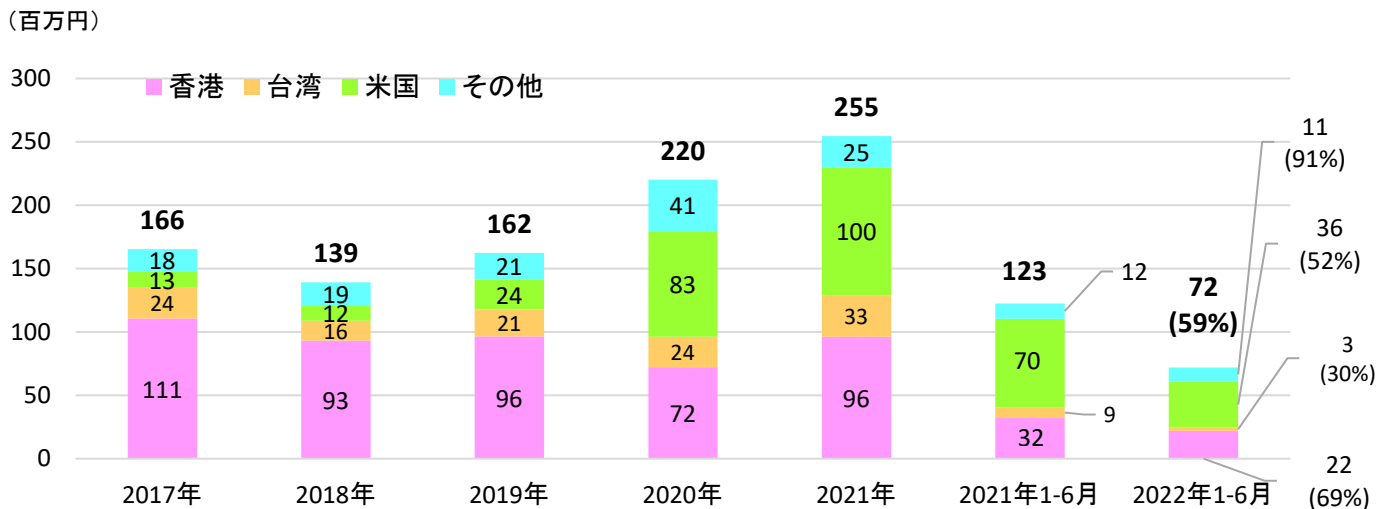
○きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- 2022年（1～6月）の乾しいたけの輸出額は72百万円で、対前年同期比59%となっている。国別では、主要な輸出先である香港が対前年同期比69%、台湾は30%、米国は52%となっている。
- 同年同期の輸出量は18トンで、対前年同期比94%となっている。輸出先別では、香港が対前年同期比66%、台湾が30%、米国が119%となっている。

○乾しいたけ輸出額の推移（累計）

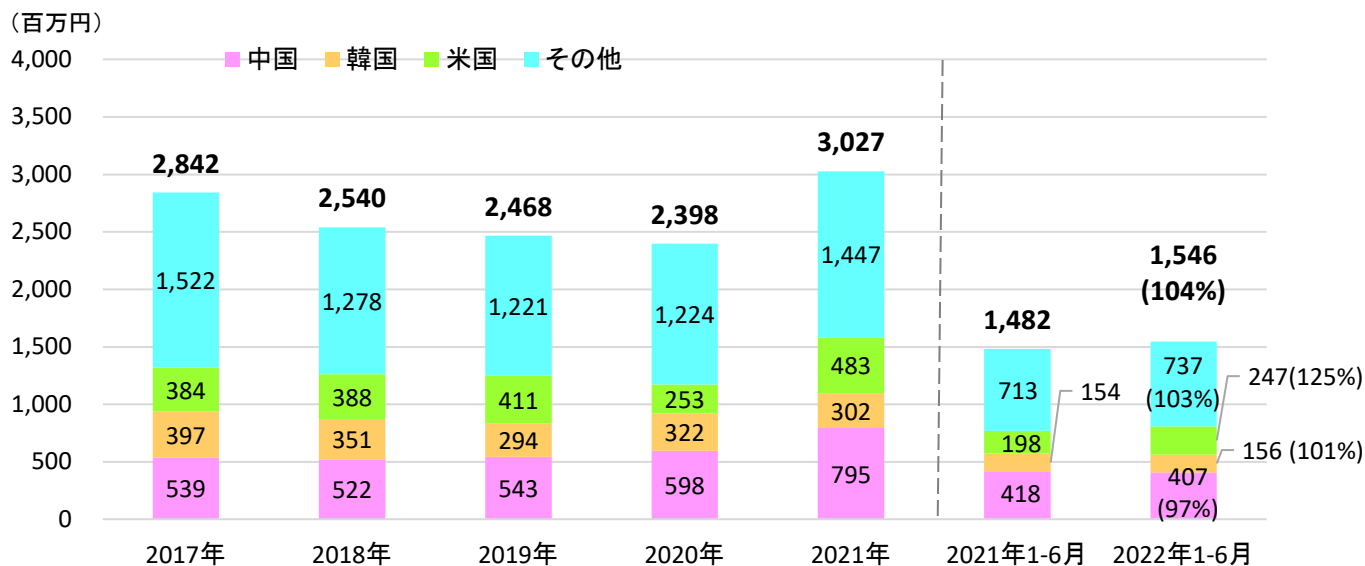


資料：財務省貿易統計

## 特用林産情報-4 特用林産物の輸出額③

- 2022年（1～6月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は1,546百万円で、対前年同期比104%となっている。国別では、中国が対前年同期比97%、韓国が101%、米国が125%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比102%、植物性ろうが102%、テルペン油が110%となっている。
- 同年同期の輸出量は1,375トンで、対前年同期比96%となっている。輸出先別では、中国が対前年同期比89%、韓国が78%、米国が101%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

- 2020年のきのご類の卸売量は、226,240トン（対前年比95.4%）となった。
- 2020年のきのご類の卸売価額は、生しいたけやえのきだけ等の卸売価格上昇により、106,143,929千円（対前年比102.2%）となった。

きのご類の卸売量

単位：トン

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	47,880	48,399	49,391	49,121	48,466
なめこ	15,993	15,549	16,143	16,193	16,889
えのきだけ	111,255	117,251	111,238	106,291	98,312
しめじ	75,164	72,518	68,505	65,619	62,573
合計	250,292	253,717	245,277	237,224	226,240

きのご類の卸売価額

単位：千円

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	45,972,664	46,171,290	44,690,633	43,515,380	43,780,628
なめこ	7,049,789	6,914,944	7,348,774	7,248,066	7,430,921
えのきだけ	27,160,745	25,534,311	26,329,886	24,221,698	26,244,760
しめじ	32,380,595	31,033,202	30,829,573	28,912,378	28,687,620
合計	112,563,793	109,653,747	109,198,866	103,897,522	106,143,929

きのご類の卸売価格

単位：円/kg

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	960	954	905	886	903
なめこ	441	445	455	448	440
えのきだけ	244	218	237	228	267
しめじ	431	428	450	441	458

資料：青果物卸売市場調査

## セミナー・イベント情報

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報ををご紹介します。

### ■ 8月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第25回 「木のある 暮らし」 作文コンクール	●応募期間 ～9月6日（火）  ●表彰式 10月29日（土）	オンライン （表彰式）	日々の生活の中にある「木」から地球環境保護の大切さを理解してもらうために小学生を対象とした「木のある暮らし」作文コンクールです。 主催：（一社）日本木造住宅産業協会
木材利用 優良施設等 コンクール	●応募期間 ～8月29日（月）  ●表彰式 10月31日（月）	木材会館 （表彰式）	木材利用の推進に資する施設や取組を評価し、表彰するコンクールです。 主催：木材利用推進中央協議会 詳細： <a href="https://www.jcatu.jp/concours/">https://www.jcatu.jp/concours/</a>
第16回みどりの 学術賞受賞記念 イベント ようこそ、みどりの研究室！ ～植物の“なぜ” に迫る研究者 たち～	9月3日（土）	日本科学 未来館 （後日オン ライン配信 予定）	令和4年みどりの学術賞受賞者の岡田清孝博士、北島薫博士によるトークイベントを開催します。 主催：内閣府、日本科学未来館 事前申込：要 参加費：無料
第58回JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2022	8月25日（木） ～27日（土）	幕張メッセ 国際展示場	DIY産業の健全な振興・総合的な発展を目指し、国内外のDIY・ホームセンター関連商品を一堂に展示します。 主催：（一社）日本DIY・ホームセンター協会 詳細： <a href="https://diy-show.com/">https://diy-show.com/</a>
森林の仕事 ガイダンス	（エリアガイダンス） 8月27日（土） 以降順次開催  （中央ガイダンス） 9月23日（金） 10月8日（土） 10月22日（土） 11月5日（土）	全国33会場 （詳細はHP 参照）	森林・林業に関心を持つ方や就業を考える方を対象に実施する説明会・相談会です。 主催：全国森林組合連合会 等 事前申込：要の場合あり（詳細はHP参照） 参加費：無料 詳細： <a href="https://www.ringyou.net/guidance/">https://www.ringyou.net/guidance/</a>
化学工学会 第53回 秋季大会特別 シンポジウム 「2050年 カーボンニュートラルへの道」	9月13日（火） 予定	信州大学 長野工学 キャンパス （オンライン 併用）	カーボンニュートラルな炭素源として、木質バイオマスに焦点をあて、国内林業との連携、木質バイオマスを用いた化学品合成技術、日本全体の産業構造の設計についての議論を行います。 主催：（公社）化学工学会 事前申込：要 参加費：無料 詳細： <a href="http://www3.scej.org/meeting/53f/pages/jp_gen-sympSP.html">http://www3.scej.org/meeting/53f/pages/jp_gen-sympSP.html</a>

## セミナー・イベント情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
FORESTRISE 2022 (第3回 次世代森林 産業展)	9月14日 (水) ～16日 (金)	東京ビッグ サイト 西2ホール	林業の最新技術が集結する国際見本市です。 主催：産経新聞社 事前申込：要 詳細： <a href="https://www.expo-form.jp/united2022/entry.php?exh=6">https://www.expo-form.jp/united2022/entry.php?exh=6</a>
第57回 全国漆器展	9月15日 (木) ～29日 (木)	伝統工芸 青山 スクエア	全国の産地の日常から使える漆器を展示し、特に優れたものを評価、表彰します。 事前申込：不要 主催：日本漆器協同組合連合会
Japan Home & Building Show 2022	10月26日 (水) ～28日 (金)	東京ビッグ サイト (有明・ 東京国際 展示場)	建築関連の製品・技術・サービスを一堂に集め、ビジネスと情報交流を促進する展示会です。 事前申込：要 参加費：無料 主催：(一社) 日本能率協会 詳細： <a href="https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/">https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/</a>
～美しい地球 は、私達の心 のハーモニー から～ 雨谷麻世 環境チャリ ティコンサート vol. 81, 82	10月28日 (金) 12月21日 (水)	東京カテド ラル聖マリ ア大聖堂 他	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：(特非) 太陽の会 (公社) 国土緑化推進機構 Mayo Crystal Music 詳細： <a href="http://mayocrystalvoice.com/">http://mayocrystalvoice.com/</a>
第54回全国 建具展示会	11月11日 (金) ～12日 (土)	東京都立 産業貿易 センター 台東館6階	多様化する住宅の需要に適應するため、優良建具を一般に展示します。 主催：(一社) 全国建具組合連合会 詳細： <a href="https://www.zenkokutategu.com/">https://www.zenkokutategu.com/</a>
ウッド デザイン賞 2022	●表彰式 12月7日 (水)  ●受賞作品展示 12月7日 (水) ～9日 (金)	東京ビッグ サイト (エコプロ 2022)	木の良さや価値を再発見できる建築物、製品や取組について、特に優れたものを評価し、表彰します。 主催：(一社) 日本ウッドデザイン協会 詳細： <a href="http://www.wooddesign.jp">http://www.wooddesign.jp</a>
第30回日本 文化を担う・ 漆の美展	1月20日 (金) ～26日 (木)	東京都 美術館 ギャラリーB	「漆の美の今の姿」を広く社会に伝える作品を展示し、特に優れたものを評価、表彰します。 事前申込：不要 主催：(一社) 日本漆工協会

# お知らせ

## ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ（※）」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

（※）ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

### 【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



### 【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

（注）使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓  
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>



お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班（TEL：03-6744-2298）



# お知らせ

## 令和4年度 木材利用優良施設等コンクール 募集中!



【募集期間】令和4年7月8日(金)  
~ 8月29日(月)

木材利用推進中央協議会では、我が国における木材利用の一層の推進を図るため、平成5年から木材利用分野の拡大や特色ある木材利用に資する施設等を対象として、その施主、設計者、施工者を表彰しています。

また、今年度から新たに、国産材利用の拡大に向けた取組を積極的に行っている建築事業者等を表彰する「国産材利用推進部門」を設けました。

以下の賞が授与されます。みなさま奮ってのご応募をお待ちしております。

### <優良施設部門>

- ◆内閣総理大臣賞(1点) ◆国土交通大臣賞(1点) ◆木材利用推進中央協議会賞(2点)
- ◆文部科学大臣賞(1点) **新設**◆環境大臣賞(1点) ◆審査委員会特別賞(2点)
- ◆農林水産大臣賞(1点) ◆林野庁長官賞(1~2点)
- ◆優秀賞(50点か応募数の5割のいずれか少ない方の点数)

### <国産材利用推進部門>

- ◆農林水産大臣賞(1点) ◆林野庁長官賞(1~2点) ◆木材利用推進中央協議会賞(2点)

### 応募対象 \*詳しい応募要件は、実施要領をご参照ください。

#### <優良施設部門>

##### ア 木造建築物、内装材利用施設

学校等施設、研修・多目的交流等施設、保育園等施設、展示・資料館等施設、保健・保養・ケア・病院等施設、住宅団地等施設、体育館・音楽堂等施設、庁舎・事務所施設(商業建物施設を含む)等

##### イ 街づくり施設

公園遊具、モニュメント、外構施設、土木施設(木道、木柵、木橋、木製ガードレール、堰堤等)等

#### <国産材利用推進部門>

次に示す木材の利用量を上回る建築事業者等による、令和3年(または令和3年度)における、国産材の利用推進に係る取組。

ハウスメーカー・工務店:15千㎡、ゼネコン:2千㎡、プレカット事業者、流通事業者(製品に限る)等:50千㎡

応募に関する詳細(実施要領、応募様式、応募フォーム等)は、こちらのサイトでご確認ください。

<https://www.jcatu.jp/concours/>



主催 木材利用推進中央協議会

後援 農林水産省、国土交通省、環境省、文部科学省、 森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進協議会

共催 都道府県木材利用推進協議会